

岩手県不動産市場動向に 関するアンケート調査結果

第21回調査（令和3年4月1日時点）

令和3年6月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

岩手県不動産市場動向に関する第21回アンケート調査の実施によせて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を契機に3協会の共同で始めました岩手県不動産市場動向に関するアンケート調査（第21回）結果の概要は以下のとおりです。

- ① 住宅地については、価格D I及び取引件数D Iともに県央部がプラスを継続したが、半年後の予測は県央部以外はマイナス。
- ② 商業地については、価格D I及び取引件数D Iともに、全ての地域で実感・予測ともにマイナス。特に、価格D Iは内陸北部以外はマイナス幅が拡大。
- ③ 中古住宅については、価格D Iは県央部がプラスを継続し、取引件数D Iは沿岸南部のみ横ばいを維持した一方で、半年後の予測は、価格D I及び取引件数D Iともに、全地域でマイナス。
- ④ 新型コロナウイルス感染症による不動産市場への影響については、影響なしの回答も一部みられたが、影響ありとの回答が大半。特に商業地においては取引価格等への悪影響を指摘する回答が大半。

①②については、住宅地価格の動向判断指数（D I）は、引き続き県央部のみが強含みの結果となりましたが、半年後の先行きは、県央部以外の地域でマイナスの予測となっております。商業地価格のD Iは、前回調査に続き、県央部も含め全地域で実感・予測とも弱含みとなる中、内陸北部以外はマイナス幅が拡大しております。未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症等による影響が、住宅地に比し、より強く反映されているものと考えられます。

③については、県央部の中古住宅価格のD Iが、プラスを維持しましたが、半年後の先行き予測は全地域でマイナスとなっております。取引件数のD Iも、全ての地域で、実感・予測とも横ばい又はマイナスで、引き続き、中古住宅の市場低迷の状況が表れています。

④については、新型コロナウイルスによる市場への影響についての回答は、影響なしの回答も一部にみられましたが、大半が影響ありとの回答となりました。そのうえで、比較的多く見受けられた回答として、いわゆる巣ごもり需要としての戸建住宅の需要増に伴う住宅価格の上昇がある一方で、飲食店をはじめとした新規テナントの激減と既存テナントの撤退・賃料減免の要請など、新型コロナウイルス感染症のさらなる悪影響を懸念する回答が寄せられました。国等による早急な支援・施策が求められています。

3協会では、当アンケート調査が、復興の推進、市場関係者の意思決定に資するものとなるよう、改善を施しながら継続していきたいと考えておりますので、今後とも、当該調査活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、ご業務のなか貴重なお時間を割いて当調査にご理解とご協力を下さいました会員の皆様に、心より感謝いたします。

令和3年6月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
会長 多田 幸司

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
本部長 浅沼 儀洋

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
会長 服部 幸司

目 次

〔1〕 岩手県不動産市場動向調査の概要	1
1. アンケート調査の概要	1
2. 動向判断指数（D I）等について	3
3. アンケート調査票	4
〔2〕 アンケート集計結果	6
1. 調査結果の概要と動向判断指数（D I）による分析	6
（1）調査結果の概要	6
（2）動向判断指数（D I）による分析	11
2. 設問ごとの回答内訳	17
問3 取引価格の6ヶ月前（R2.10.1時点）との比較	17
問4 6ヶ月後の取引価格の予測	19
問5 取引件数の6ヶ月前（R2.10.1時点）との比較	21
問6 6ヶ月後の取引件数の予測	23
問7 賃料の6ヶ月前（R2.10.1時点）との比較	25
問8 入居率の6ヶ月前（R2.10.1時点）との比較	26
お問い合わせ窓口等	27

〔1〕岩手県不動産市場動向調査の概要

1. アンケート調査の概要

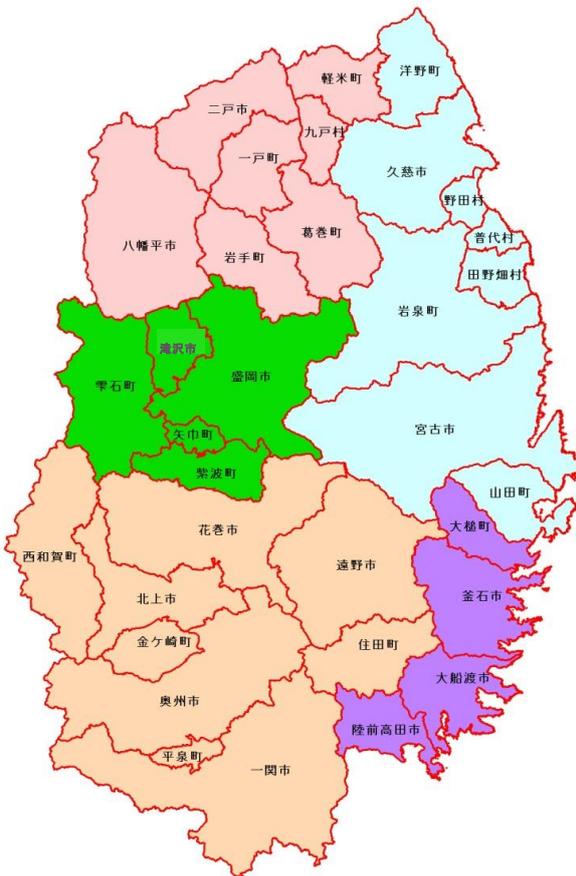
一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部及び一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会の三者共同で、令和2年10月1日（第20回調査時点）から令和3年4月1日（第21回調査時点）までの6ヶ月間の不動産市場の推移に関する実感と、この先6ヶ月間（R3.4.1～R3.10.1）の市場動向に関する予測、不動産市場の特徴的な動き、国・県・市町村等に対する要望・意見等についてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員である。

なお、本調査はP3のとおり定性調査であり、具体の取引件数、成約価格等の定量調査ではない。

- (1) 実施時期 令和3年4月
- (2) 調査方法 一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員に対するアンケート調査
- (3) 発送数 717
- (4) 回収数 193（回収率：26.9%）
- (5) 地域区分 沿岸北部、沿岸南部、県央部、内陸北部、内陸南部の5つに地域区分し集計した。

問1：回答者の主な営業地域

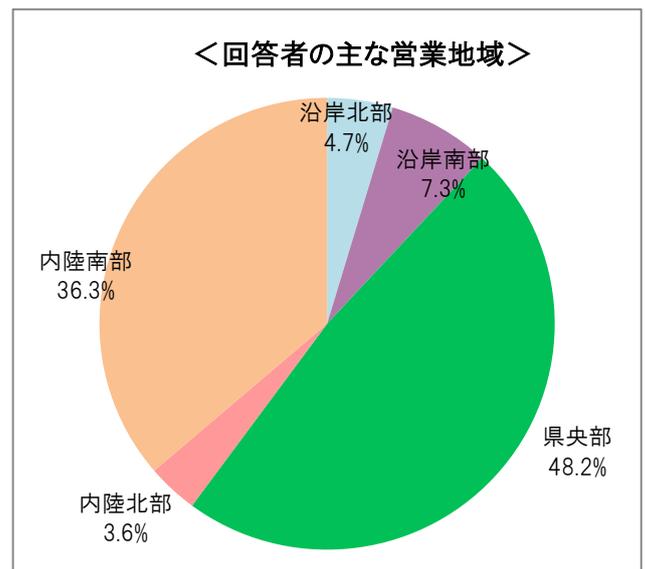
〈各市町村の地域区分〉



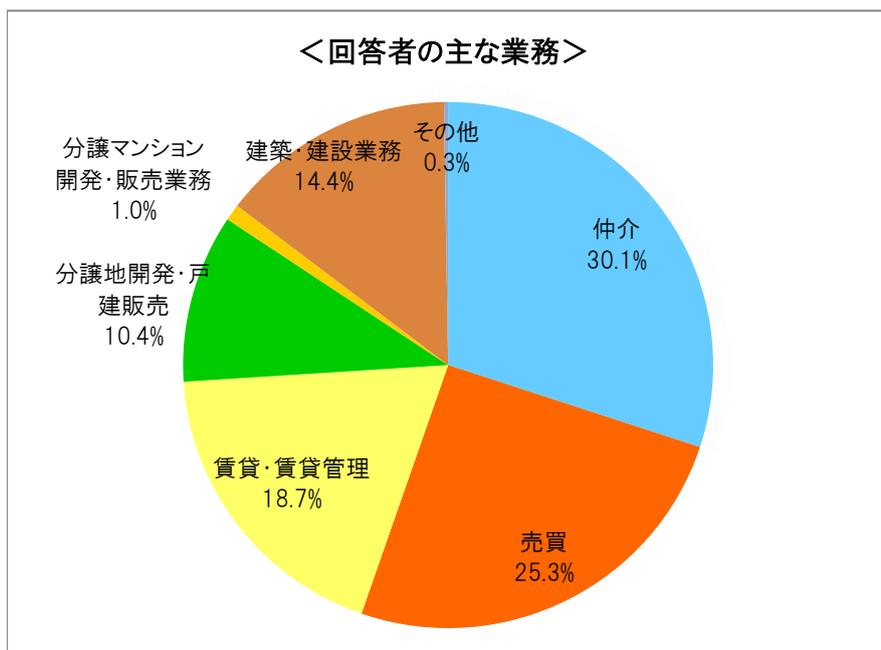
地域区分	地区名	発送数	回答数	回収率
	沿岸北部	52	9	17.3%
	沿岸南部	36	14	38.9%
	県央部	362	93	25.7%
	内陸北部	26	7	26.9%
	内陸南部	241	70	29.0%
	合計	717		0.0%

※回収率は、発送数を事務所所在地を基準とし、回答数は、主な営業地域により計算している。

〈回答者の主な営業地域〉



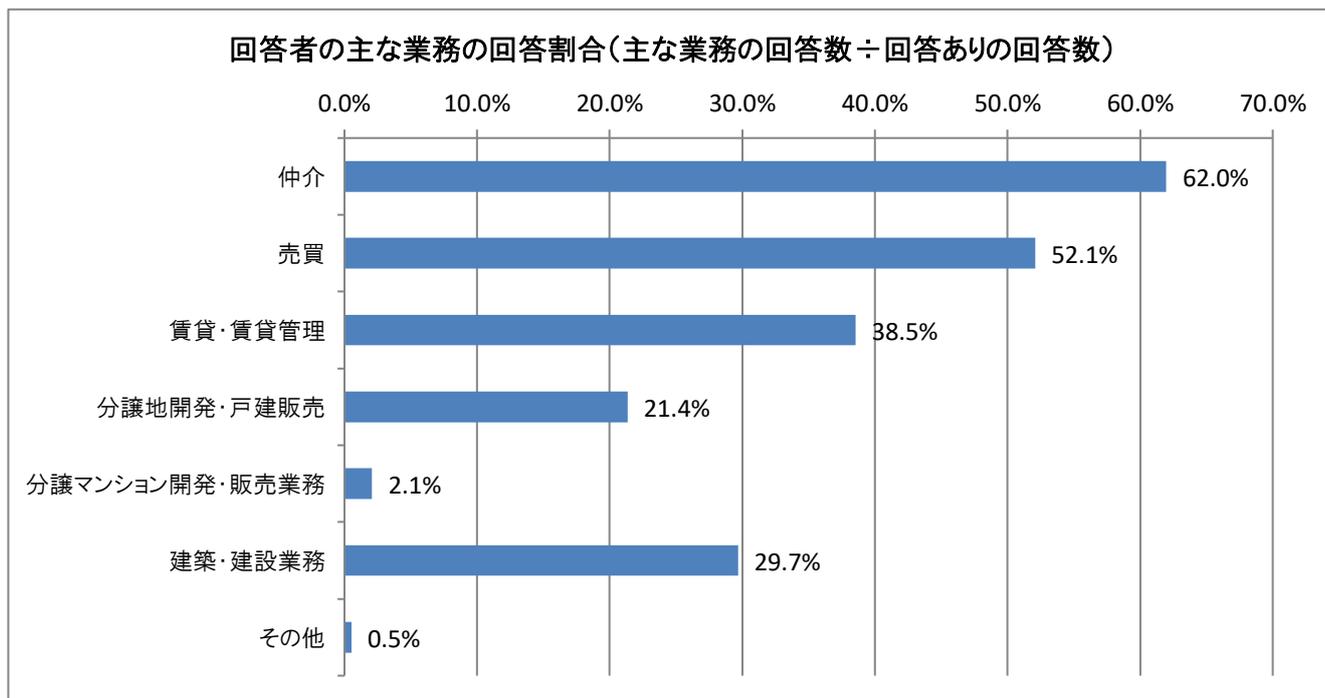
問2：回答者の主な業務



主な業務についての回答	
回答の有無	回答数
回答あり	192
回答なし	1
合計	193

主な業務	回答数
仲介	119
売買	100
賃貸・賃貸管理	74
分譲地開発・戸建販売	41
分譲マンション開発・販売業務	4
建築・建設業務	57
その他	1
合計	396

(複数回答あり)



仲介、売買、賃貸・賃貸管理をコア業務としている会員が多く、また、建築・建設をコア業務と回答している会員も約3分の1を占めている。

2. 動向判断指数（DI）等について

（1）動向判断指数（DI）

① DIとは

DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、現状や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、DIとして指数化することにより調査項目の時系列把握や地域間比較を行ったりすることが容易となる。

② DIの算出方法

本調査におけるDIの算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階または3段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

<算出方法（5段階の例）>

住宅地の地価	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D	E	F

$$DI = \{ (A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

<算出方法（3段階の例）>

建築資材の価格	上昇	横ばい	下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D

$$DI = (A - C) \div (A + B + C) \times 100$$

※DIが0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上のDIの幅は、プラスマイナス100の範囲となる。

（2）中央値

中央値とは、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央にくる値、データの数が偶数の時は、中央にある二つの値の平均値。

岩手県不動産市場動向アンケート(第21回)

■問1 県内における御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業地域についてお聞かせ下さい。

(最も取引件数の多い市町村をひとつ選んで○をつけるか、【】内に記載してください。例：奥州市江刺、一関市大東町等)

1.盛岡市 2.八幡平市 3.滝沢市 4.紫波町 5.矢巾町 6.雫石町 7.岩手町 8.葛巻町 9.花巻市 10.遠野市 11.北上市
 12.西和賀町 13.奥州市 14.金ヶ崎町 15.一関市 16.平泉町 17.久慈市 18.洋野町 19.野田村 20.普代村
 21.田野畑村 22.二戸市 23.一戸町 24.軽米町 25.九戸村 26.宮古市 27.釜石市 28.大槌町 29.岩泉町
 30.山田町 31.大船渡市 32.陸前高田市 33.住田町 【 】

■問2 御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業業務についてお聞かせ下さい。
 (○印をお願いします。複数回答可)

1.仲介業務 2.売買業務 3.賃貸・賃貸管理業務 4.分譲地開発・戸建販売業務
 5.分譲マンション開発・販売業務 6.建築・建設業務 7.その他()

以下、設問3～8は、調査・集計の性格上、可能な限り1～5の選択肢でのご回答をお願いします。地域によっては、取扱いがない、もしくは極めて少ない不動産(例：産業用地)の場合、「6.不明」の場合もあるかと思います。

■問3 **現在**(R3.4.1時点)の主な営業地域の**取引価格**は、6カ月前(R2.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住宅地の地価：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明
 商業地の地価：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明
 産業用地の地価：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明
 中古住宅の価格：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

※1 産業用地は、工場・倉庫・物流施設用地、資材置場用地等についてご回答をお願いします、以下同様です。

■問4 **6カ月後**(R3.10.1時点)の主な営業地域の**取引価格**は、現在(R3.4.1時点)と比較してどうなると**予測**しますか？

住宅地の地価：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明
 商業地の地価：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明
 産業用地の地価：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明
 中古住宅の価格：1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

■問5 **現在**(R3.4.1時点)の主な営業地域での**取引件数**は、6カ月前(R2.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住宅地の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明
 商業地の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明
 産業用地の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明
 中古住宅の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明

■問6 **6カ月後**(R3.10.1時点)の主な営業地域での**取引件数**は、現在(R3.4.1時点)と比較してどうなると**予測**しますか？

住宅地の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明
 商業地の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明
 産業用地の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明
 中古住宅の取引：1. 大きく増加 2. やや増加 3. 横ばい 4. やや減少 5. 大きく減少 6. 不明

■問7 **現在** (R3.4.1時点)の**賃料**は、6カ月前(R2.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

その他不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

■問8 **現在** (R3.4.1時点)の**入居率**は、6カ月前(R2.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の入居： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

その他不動産の入居： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

■問9 営業地域の不動産取引で特徴的なことがありましたらお教え下さい。

■問10 令和3年地価公示では、コロナ禍の影響による来店客の減少等による退去物件の急増によって、盛岡市内の商業地価格の平均変動率がプラスからマイナスに転じましたが、御社の主な営業地域における商業地、商業物件の取引で特徴的なことがありましたらお教えください。

(記載例：〇〇地区では飲食店舗に限らず様々な業種で閉店や退去が増えている。家賃の減額交渉が続いている。〇〇地区の商業地はコロナ禍の前からシャッター街でコロナ禍の影響は特段見られない。e t c.)

■その他 (先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等へのご意見・要望などを、ご自由にお書きください。)

以上で質問は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、**令和3年4月30日(金)**までに次のFAX番号宛に送信、又は同封の返信用封筒にて返信お願いいたします。

一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会 FAX番号 **019-622-8485**

差し支えなければ、下記についてご回答をお願いいたします。**本アンケートの集計結果の送付を希望される場合は、貴社名・〒番号・ご住所は必ず記載をお願いいたします。(タナ版を押して頂ければ結構です。)**

所 属 協 会	<input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
どちらかに○印をつけてください	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部
貴社名(営業所・支店名)	
〒 番 号 ・ ご 住 所	
電 話 番 号	
ご 担 当 者	
※ 調 査 結 果 の 送 付	希望する 希望しない ←○印をつけてください

〔2〕 アンケート集計結果

1. 調査結果の概要と動向判断指数（D I）による分析

（1）調査結果の概要

■ 住宅地の地価

県央部がプラスを継続したが、半年後の予測は県央部以外はマイナス。

過去5回（H30/10、H31/4、R1/10、R2/4、R2/10）から今回調査（R3/4）に至る住宅地価格D I（実感）の推移をみると、沿岸北部が、▲11.1⇒▲20.0⇒▲18.2⇒▲32.1⇒▲28.6⇒▲57.1、沿岸南部が、▲21.4⇒▲21.9⇒▲32.1⇒▲39.3⇒▲27.3⇒▲25.0と、両地域とも引き続き大幅なマイナスとなり、住宅地需要が低迷する状況が継続している。

その他の地域は、県央部が、9.0⇒10.4⇒9.3⇒1.7⇒10.1⇒11.8、内陸北部が、▲11.1⇒▲10.0⇒▲16.7⇒▲25.0⇒0.0⇒▲14.3、内陸南部が、▲5.7⇒▲0.8⇒▲6.2⇒▲15.2⇒▲14.8⇒▲4.4と、引き続き県央部がコロナ禍においても強含みとなったが、6ヶ月後の先行きについては、県央部のみプラスを予測したものの、それ以外の地域でマイナスの予測となっている。新型コロナウイルス感染症等による将来動向の不透明感や懸念等が反映された結果となっている。

■ 商業地の地価

引き続き全ての地域で実感・予測ともにマイナス。

過去5回から今回調査に至る商業地価格D I（実感）の推移をみると、沿岸部は、北部が▲11.1⇒▲25.0⇒▲15.0⇒▲35.7⇒▲42.9⇒▲42.9、南部が▲7.1⇒▲18.8⇒▲32.1⇒▲25.0⇒▲45.0⇒▲28.6となり、いずれも大幅なマイナス値が継続しており、復興関連事業に概ね目処が立ったことに伴う事業者の撤退などにより、商業地の需要も低迷する状況が顕著となっている。

他の地域は、県央部が、10.5⇒6.3⇒10.3⇒▲3.9⇒▲2.7⇒▲7.5、内陸北部が、▲31.3⇒0.0⇒▲18.8⇒▲31.3⇒▲14.3⇒▲25.0、内陸南部が、▲19.1⇒▲14.4⇒▲13.4⇒▲16.9⇒▲21.6⇒▲17.6と、いずれの地域も実感・予測とも弱含みとなっている。商業地については、県央部も含め全地域でマイナスとなり、住宅地よりも新型コロナウイルスの影響等が色濃く現れた結果であると考えられる。

■ 中古住宅の価格及び取引件数

価格は、県央部がプラスを継続したものの、先行き予測は全地域でマイナス。

取引件数は、引き続き沿岸南部のみ横ばい、他地域はマイナス。

過去5回から今回調査に至る中古住宅価格D I（実感）の推移をみると、沿岸北部が、▲21.9⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲35.7⇒▲25.0⇒▲58.3、沿岸南部は、▲21.4⇒▲13.3⇒▲46.4⇒▲46.4⇒▲36.4⇒▲30.8と、弱含みの推移を継続している。県央部は、5.7⇒7.0⇒▲1.6⇒▲6.3⇒2.5⇒3.8と、プラスを維持し、唯一やや強含みの結果となったが、半年後の先行きはマイナスの予測となっている。

取引件数D Iは、引き続き、沿岸南部のみが横ばいで、他の地域はマイナスとなった。

■ 賃料及び入居率

内陸北部がマイナスからプラスに転じるなど改善したが、それ以外の地域は賃料・入居率ともマイナスの推移を継続。

住居系・その他不動産いずれも、内陸北部がマイナスからプラスに転じるなど改善したが、それ以外の地域は賃料・入居率ともマイナスとなっている。

■ 問9：営業地域における不動産取引で特徴的な事項

① 沿岸北部

- 津波罹災地は避ける傾向にある。（宮古市）
- このところ取引がなく不明。（山田町）

② 沿岸南部

- 人口減が不動産取引の減少要因のようだ。（釜石市）
- コロナに尽きる。社会活動の停滞を招き、先行きが見通せない状況では打つ手無し。（大船渡市）
- 以前は土地の取引があったが、今はほとんどない。（陸前高田市）

③ 県央部

- 土地の動きが多くなってきた。賃貸は空室が増えた。（盛岡市）
- 販売するものがない。以前は中古住宅が不足していたが、現在は一般住宅地もない。住宅メーカーが買い取っている。（盛岡市）
- 住宅地の価格が上昇基調にある（すべての住宅地ではない）。（盛岡市）
- 生活保護や失業中（求職中）という方からの問合せが以前に比べ増えた（内容：生活保護or求職中でも借りられる物件があれば紹介していただきたいetc…）。（盛岡市）
- 土地に関して、個人より建築会社が土地を購入することが増えている。（盛岡市）
- コロナ禍による滞納や退去の影響が継続（賃貸）。（盛岡市）
- 賃貸需要は比較的高い傾向にあると見られるが、値下げを希望する方も増加したように思われる。（盛岡市）
- 高齢世帯の「空家」化するスピードが早くなってきた感がある。市内一円。（盛岡市）
- 取引する物件が減少しているように感じる。（盛岡市）
- 売地の動きが早くなった。（盛岡市）
- ファミリータイプ・2LDK以上の間取り物件の住み替えが増加。賃料を上げたとしても設備が充実している物件を希望されることが多い。コロナ禍により住むところに対して投資したいという意見も聞かれた。また、R3、1月～3月においては前年に比べ、転勤の方が増加。賃貸物件が一時的に枯渇することもあった。（盛岡市）
- 事業主からのコロナ助成金手続の依頼が非常に多かった。その分コロナ禍を理由とする退去は予想より少なかったと思う。（盛岡市）
- 岩手医大の移転に伴い、矢巾町エリアの入居が好調。（盛岡市）
- 需要と供給のバランスが悪い。物件（特に土地・建築条件無し）が少なく、条件付分譲が多いため、条件無しをご希望のお客様への情報提供が出来ない。（盛岡市）
- 売地・中古住宅の売り物件が少なく値上がりしていると思われる。（盛岡市）
- 事業用不動産投資がメインだった投資家が、住居系の投資を始めるケースが増えたと感じた。（盛岡市）
- 広告を出しても人の出が悪い。（盛岡市）
- 土地の引き合いはあるが建築条件付きの土地の供給が多く、需要要件とマッチしにくい。（盛岡市）
- 在庫（2、3年売れなかった）の土地、中古住宅がすべて売れた。（盛岡市）
- 住宅メーカーの問合せが多い。（紫波町）
- 土地・中古住宅とも問合せは多いが、紹介できる物件がない。土地の所有者は「矢巾は高く売れる」と思い込んでいる（実際は横ばい）。家賃が高い。特にテナント物件。（矢巾町）
- 矢巾町は昨年と変わらず売地が不足している。購入希望者は以前と変わらず多い為、住宅用地は仕入れから売却まで時間がかからない。（矢巾町）

④ 内陸北部

- 便の良いところに集中してきているので、いよいよ物件がなくなった。(二戸市)
- アパートの入居者の退去が少なく、例年に比べアパートの仲介が少なかった。(二戸市)

⑤ 内陸南部

- 花巻市街地の売買物件がここ1～2年非常に少ない。分譲地はほとんど建築条件付のものしかない。(花巻市)
- 古民家などの都市部から田舎への移住希望者からの問合せが増。(遠野市)
- 農地含む中古一軒家を探す人が増えた。(遠野市)
- アパート等の賃貸物件が一時的に少ない。キオクシア周辺の駐車場が足りない。(北上市)
- 住宅地において、分譲及び仲介地いずれも物件の不足が続いている。(北上市)
- 土地の分譲が少ない。(北上市)
- 北上市の状況だが、トヨタ東日本及び東京エレクトロン関連の人材派遣会社の動きが活発で、賃貸アパートの1Kの物件が一時的に不足している。(北上市)
- ハウスメーカーが土地を買い占めるため、土地の相場が上がっている。(北上市)
- 誘致企業の動向に左右されていると感じる。(北上市)
- コロナによる支出の減少に伴う貯金額の上昇と反動によってか、3月頃から売買の成約率が上昇した。(奥州市)
- 巣ごもり需要の反動が大きい。(奥州市)
- コロナにより、賃貸物件の入退去が減少していると感じる。(奥州市)
- 住居系取引は底堅いが、商業物件の取引の話が全くなかった。駅周辺の旧商業地の衰退が著しく、価値の低下が進んでいるように感じられる。(奥州市)
- ドラッグストアの出店が多く、商圈エリアが狭くなってきている(特に水沢地区)。コンビニと同じペースで増えている。土地の賃貸金額も下がってきていると思われる。(一関市)
- 一関市内の建売は未完成での成約がある。また、完成後もあまり残らず成約している。(一関市)
- コロナの影響は少ないように思う。むしろ「おうち需要」が高まっているように思う。(金ヶ崎町)
- 賃料値下げ要求が多々あり。入居者の要求が強いと感じる。(平泉町)

■ 問10：新型コロナウイルス感染症による影響等 (特に、商業地での取引価格への影響等)

① 沿岸北部

- 飲食店舗に限らず様々な業種で閉店や退去が増えている。(久慈市)
- 宮古地区での影響は特でない。(宮古市)
- コロナ禍により、お店の集客が少なくなって大変な状態になってきているが、退居・閉店はまだ少なく、そうなるのはこれからだと思う。(山田町)

② 沿岸南部

- 例年とは全く比較にならないほど低調に推移。この状況が2年・3年も続くのであれば商売は成り立たなくなる。(大船渡市)
- コロナ禍にかかわらず空地が多い。(陸前高田市)

③ 県中部

- コロナの影響かは不明だが、退去の人は多く、入居の人は少なかったため、空室が多くなった。(盛岡市)
- 盛岡は特に変わらないと感じる。(盛岡市)
- 大通地区飲食店舗の家賃減額交渉が続いている。(盛岡市)
- 弊社はリフォーム業もしているので、年に数件店舗の改装を依頼されるが、昨年は10月以降改装の依頼が全くなく、逆に店舗を退去するので原状回復工事の依頼が増えた。(盛岡市)

- 盛岡市内商業地域の家賃減額交渉が続いている。（盛岡市）
- 飲食店の営業不振に伴い、物件の稼働状況が思わしくなく、今後、物件価格に影響するものと思われる。（盛岡市）
- コロナ禍で業種により業績の善し悪しに格差が拡大しているように思う。（盛岡市）
- 近年の盛岡市近郊では高齢化の影響か、相続による売却等の取引案件が増加しており、商業系物件についても同様の傾向が見られる。（盛岡市）
- 物流への影響から、決済日の後ろ倒しがあった。（盛岡市）
- 学生さん向けの賃貸住宅の動きが鈍い。コロナ禍により全国的に地元志向が増えて他県からの新入生が少なくなってきたのでは？（盛岡市）
- 空店舗はそのまま空いている（家賃が高いが、オーナーが値下げしない）。新規参入を希望する企業・個人事業主はとて多いが、賃料が高い等の理由でかなり厳しい現状。（矢巾町）
- 矢巾はコロナ前は物件（店舗・事務所等）が不足していたが、コロナの影響で空室が目立ち始めた。（矢巾町）
- 当社の営業地域は滝沢市栄子地区周辺。特にコロナ禍の影響はないように思う。（滝沢市）

④ 内陸北部

- すっかり商店は閉鎖。駐車場が町中に増加している。（二戸市）

⑤ 内陸南部

- 賃貸については取り扱いがないのでわからないが、売買についてはコロナ前後での変化は特に感じない。（花巻市）
- 花巻が商圈メインだが、土地取引数はやはり下落している。（花巻市）
- R2年度はコロナ禍の影響がもろに出て、土地や建物がほとんど動きが止まっていた。R3年度は問合せが増えてきたように感じる。（遠野市）
- 遠野市においての商業地はバイパス通りだが、出店するための工事が随時行われており、さほど不景気とは思わない。飲食店についてはコロナ禍により苦勞しているが、静かな営業という感じだ。（遠野市）
- 飲食店系の退去・賃料減額要請が多くなり、コロナ禍の影響が大きいと感じている。（北上市）
- 現状は以前と変わらずに入居・退去変化なし。（北上市）
- 北上市内の商業取引が少ないですが、飲食店舗等がコロナの影響で閉店・自粛営業で寂れた雰囲気になっている。（北上市）
- 家賃の値下げの申出があった。（奥州市）
- 飲食店の入居は減っている。（奥州市）
- 奥州地区の商業物件は（コロナ禍による影響か否かは確定的な判断はつかないが）大手量販店、飲食店グループからの検索依頼がなくなった。需要減少による価格下落が発生している。（奥州市）
- 空店舗がなかなか埋まらず、問合せもほとんどなし。（一関市）
- 一関及び奥州水沢は飲食店は閉店が増えてきている。空店舗への入居もない状況が続いている。（一関市）
- アパート・貸家関係に入居されている方の移転（動）が多く出てくると思う。（一関市）
- コロナの影響は特に見受けられない。（一関市）
- 元々商業物件は少ないので、影響が出ていたにしても表面的にはわからない。（金ヶ崎町）
- 自社の営業地域ではコロナ禍の影響は特に見受けられない。（住田町）

■ その他（市場の現状、先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等への意見・要望等）

国等への意見・要望などとして、●新型コロナウイルス感染症による経済への影響に対する施策の実行及び支援の拡充●空き家対策等を要望する声などが寄せられた。

① 沿岸北部

- もう打つ手見当たらず。（久慈市）
- 事業として立ちゆかなくなるだろう。県・国が主導でニューディール政策的大事業をおこなわなければだめになってしまう。これはコロナ・人口減少・漁村での不漁など、マイナス要因しかないため。（山田町）

② 沿岸南部

- コロナ収束もしくは落ち着かないと商売は無理。子育てが終わってるだけ、まだましな方かもしれない。（大船渡市）
- 空家が年々増える傾向にある。抜本的対策が必要。移住を見据えた取り組み等が考えられる。（陸前高田市）

③ 県央部

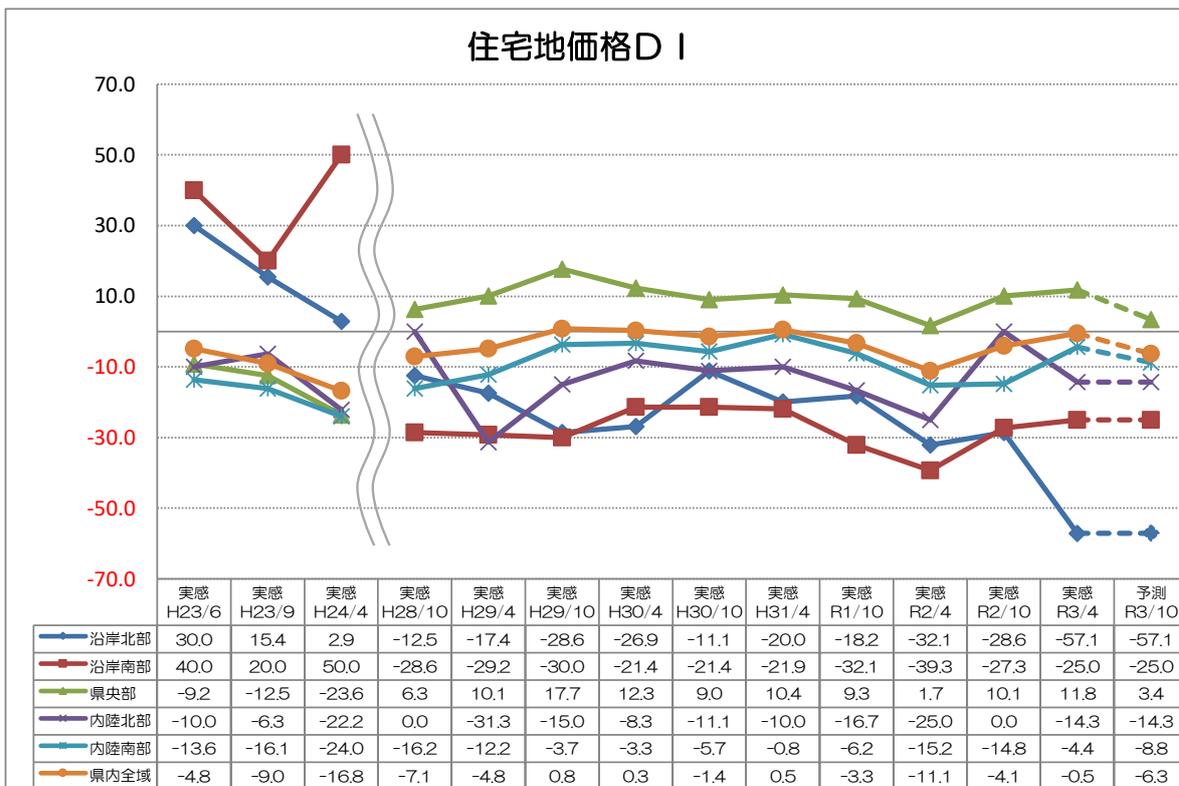
- 所有者不明の空き家対策。（盛岡市）
- 地価の微減傾向は今後も続くと思われる。国・行政に対しては、不動産業、コロナ等一点を注視せず全体のバランスをとった法令整備や仕組み作りを行ってほしいと思っている。（盛岡市）
- コロナの影響がどこまで及ぶか不安で新築をためらっている方がこの事態が落ち着いた頃、一気に新築しはじめバブル状態になるのではないかと。（盛岡市）
- 売地中古住宅の売り物件が少ない傾向は当面続くと思われる。（盛岡市）
- 盛岡市は紫波郡を吸収して50万人都市を狙っていたが、紫波町がこの計画を脱退した。その後矢巾町では岩手医大を誘致したものの市街化区域が少なく、反対に矢巾町の人口が減少にある。よって市街化区域をもう少し多くしてもらいたいといった声が多い。町でもどうにもならないようだ。（盛岡市）
- 経済が萎縮している。不動産が動かない（土地・戸建て等）。困っているのは飲食・観光業だけではない。（盛岡市）
- 県・市町村独自の中小企業に対するシンプルな賃料助成制度の創設。（盛岡市）
- 空家が増えているが、ほぼ調整区域であり何も出来ない。他市町村とのバランスを見ながら区域の変更をしてほしい。（矢巾町）
- FAXや郵送でしか調査の回答が出来ないのはよろしくないと思う。インターネットで回答できるようにした方がよい。（滝沢市）

⑤ 内陸南部

- 北上市内農地・都市計画（用途）の見直し。（北上市）
- 空き家・空地の再利用をやすくしてほしい。（奥州市）
- 住まい給付金の延長。移住支援の拡大拡充。（奥州市）
- 不動産取引報酬額を取引価格のパーセントではなく、個別に業務内容に応じて請求できるようにしてほしい。他業種はすべてそのような形式で取引されているので、不動産業界も早く実状にあった報酬制度にしてほしい。（一関市）

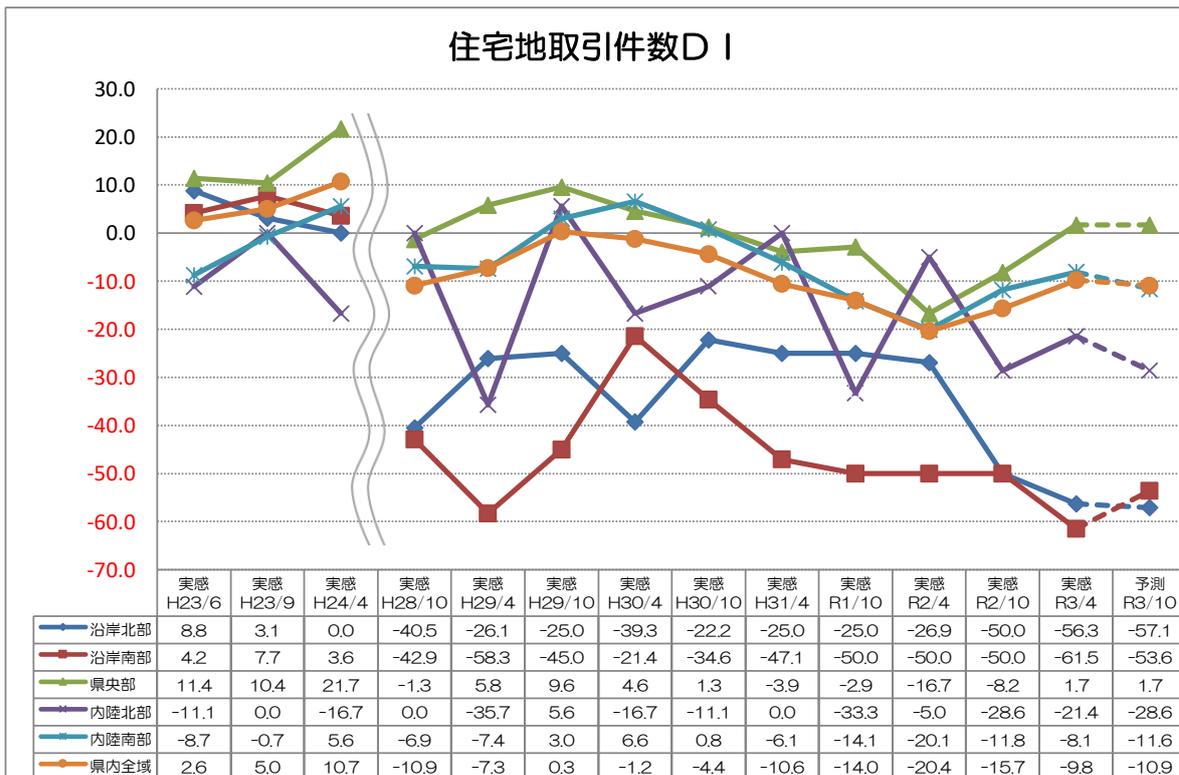
(2) 動向判断指数 (DI) による分析

問3、4



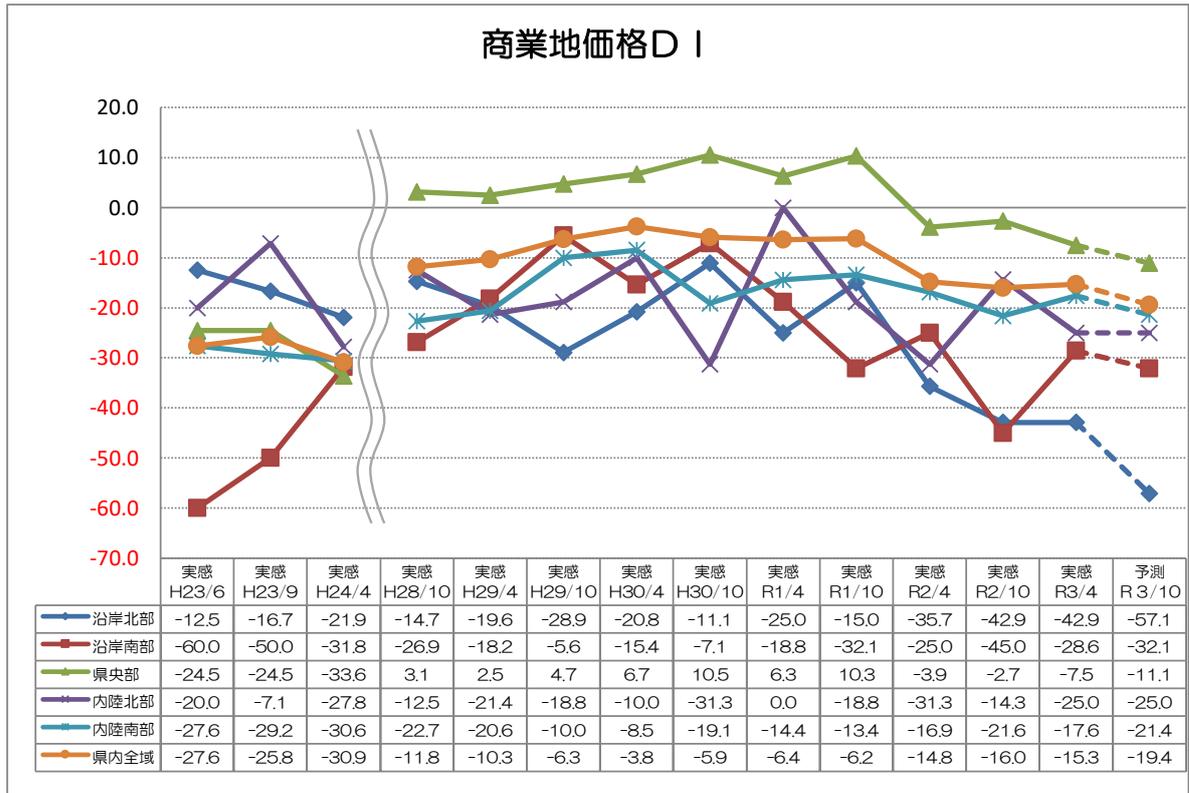
※実感H23/6は第1回調査 (H23.6.1時点) の調査結果、実感H23/9は第2回調査 (H23.9.1時点) の調査結果、実感H24/4は第3回調査 (H24.4.1時点) の調査結果で、以後半年ごとの調査。紙幅の制約により一部省略。(以下同様)

問5、6

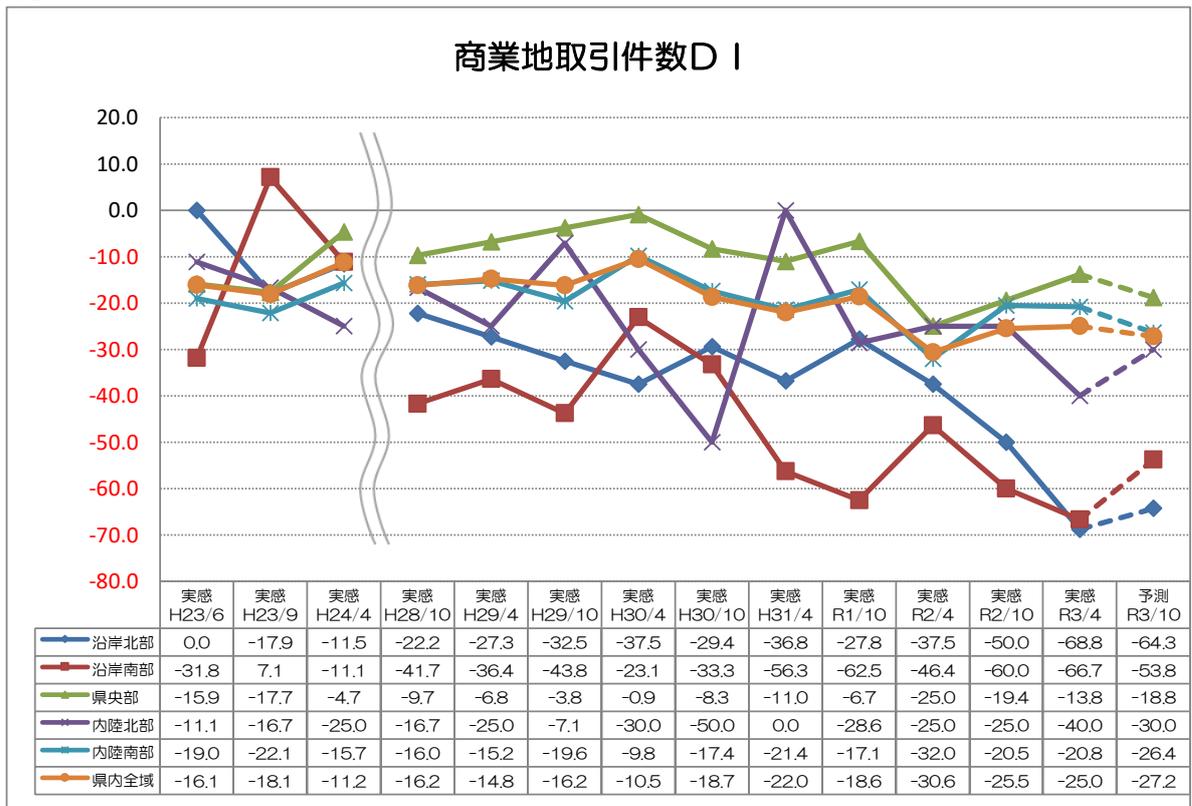


- 価格DIは、県央部は実感・予測ともプラスを継続。それ以外の地域は実感・予測ともマイナス。
- 取引件数DIは、県央部は実感・予測ともプラス。それ以外の地域は実感・予測ともマイナス。

問3、4

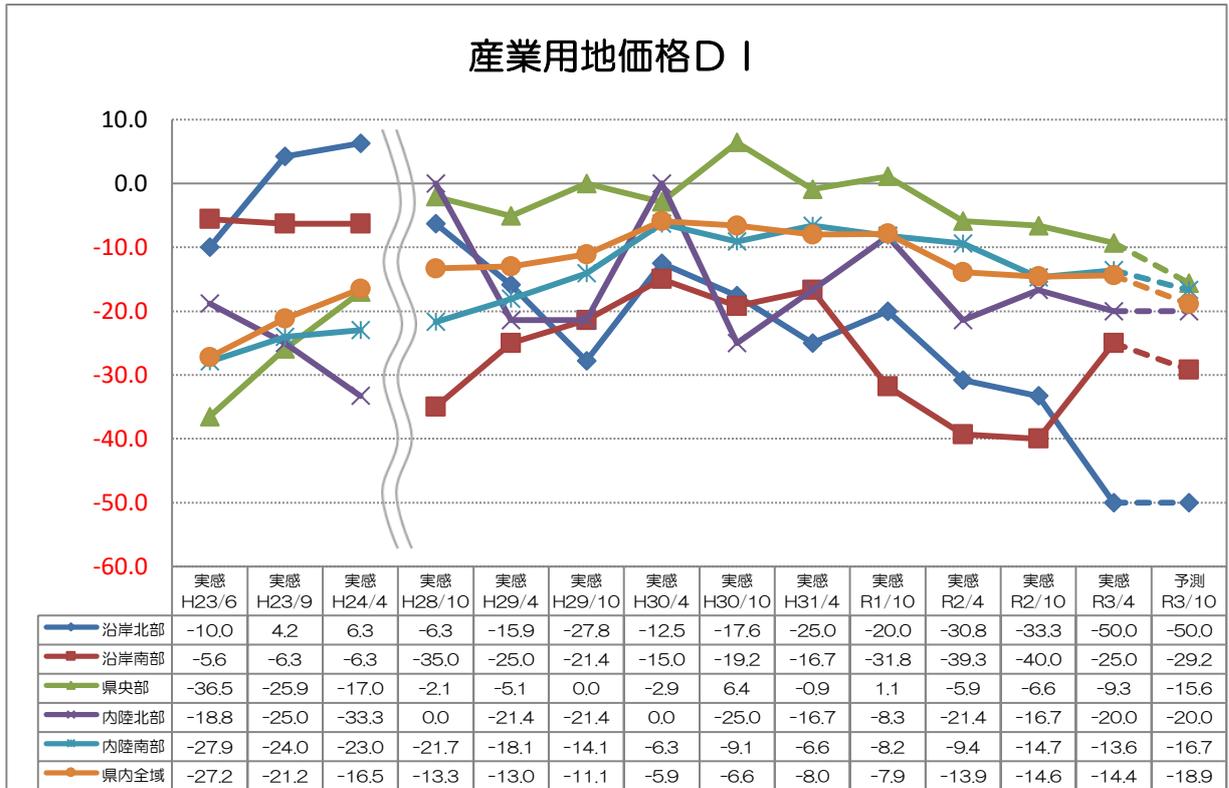


問5、6

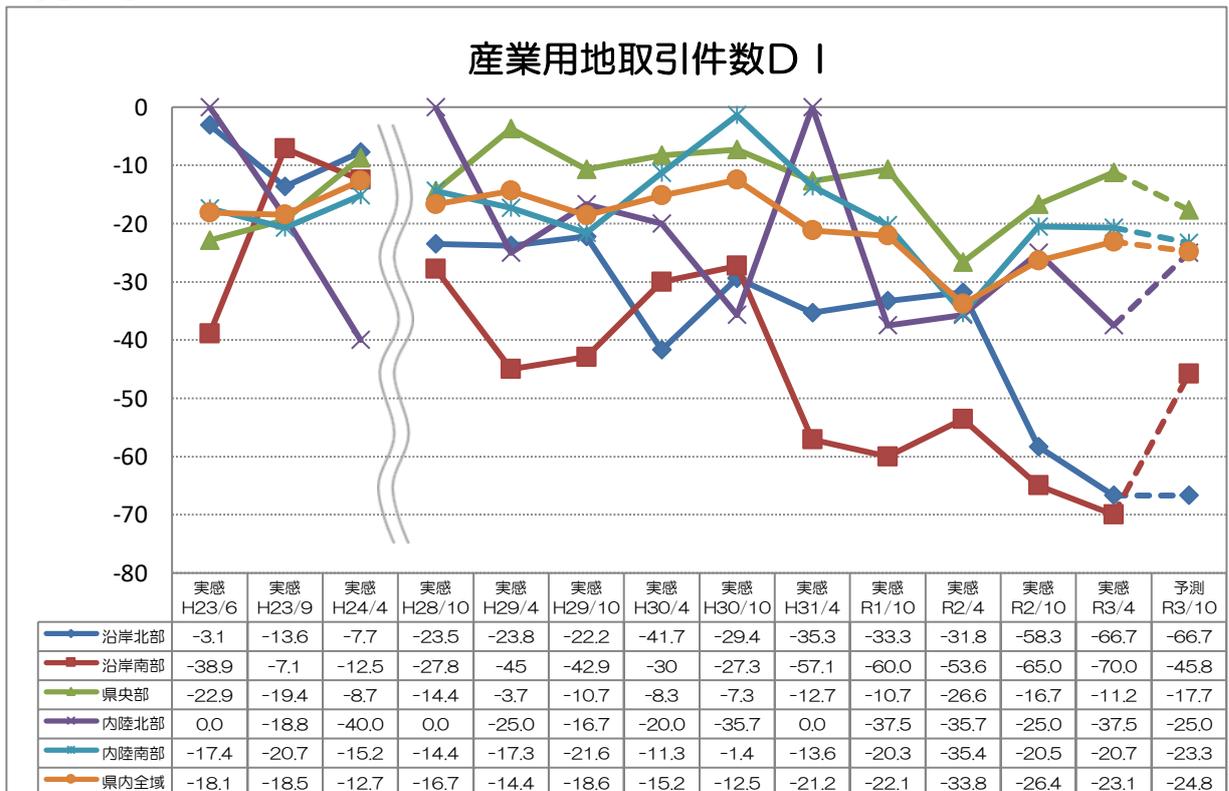


- 価格DIは、引き続き、全ての地域で実感・予測ともにマイナスで、内陸北部以外はマイナス幅が拡大。
- 取引件数DIは、全地域で実感・予測のマイナスを継続。

問3、4

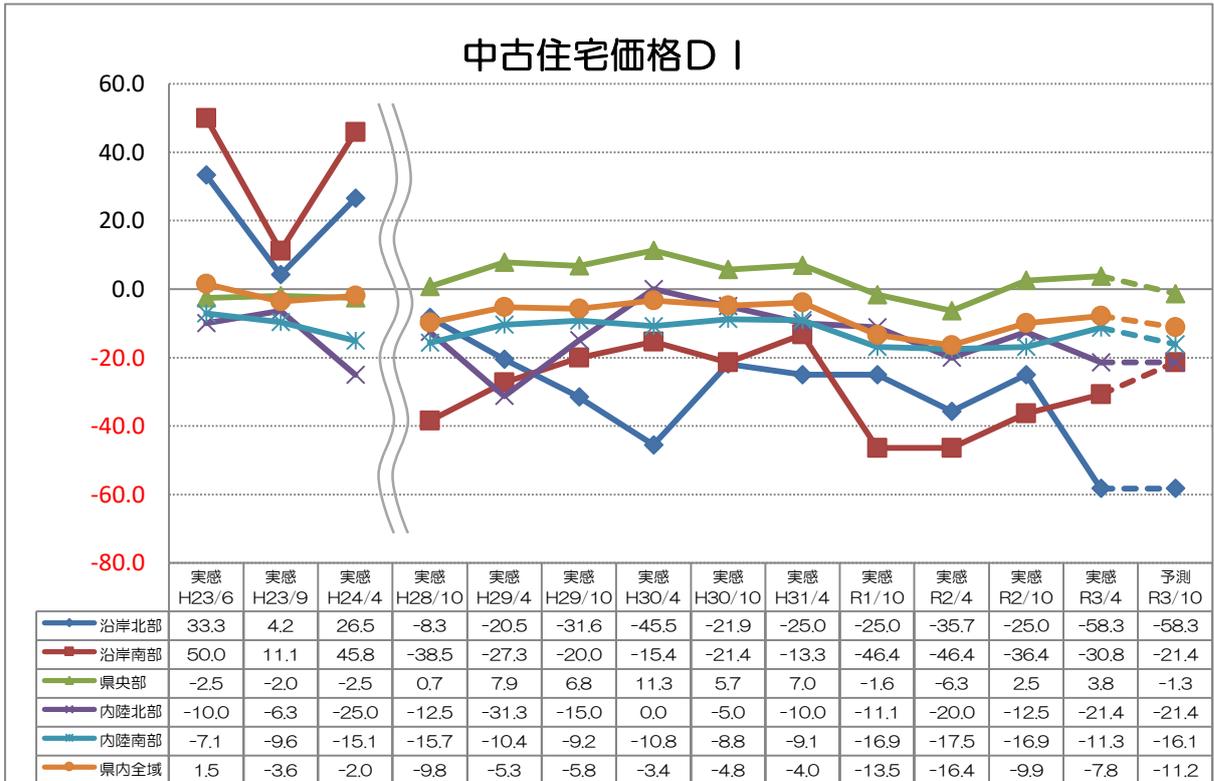


問5、6

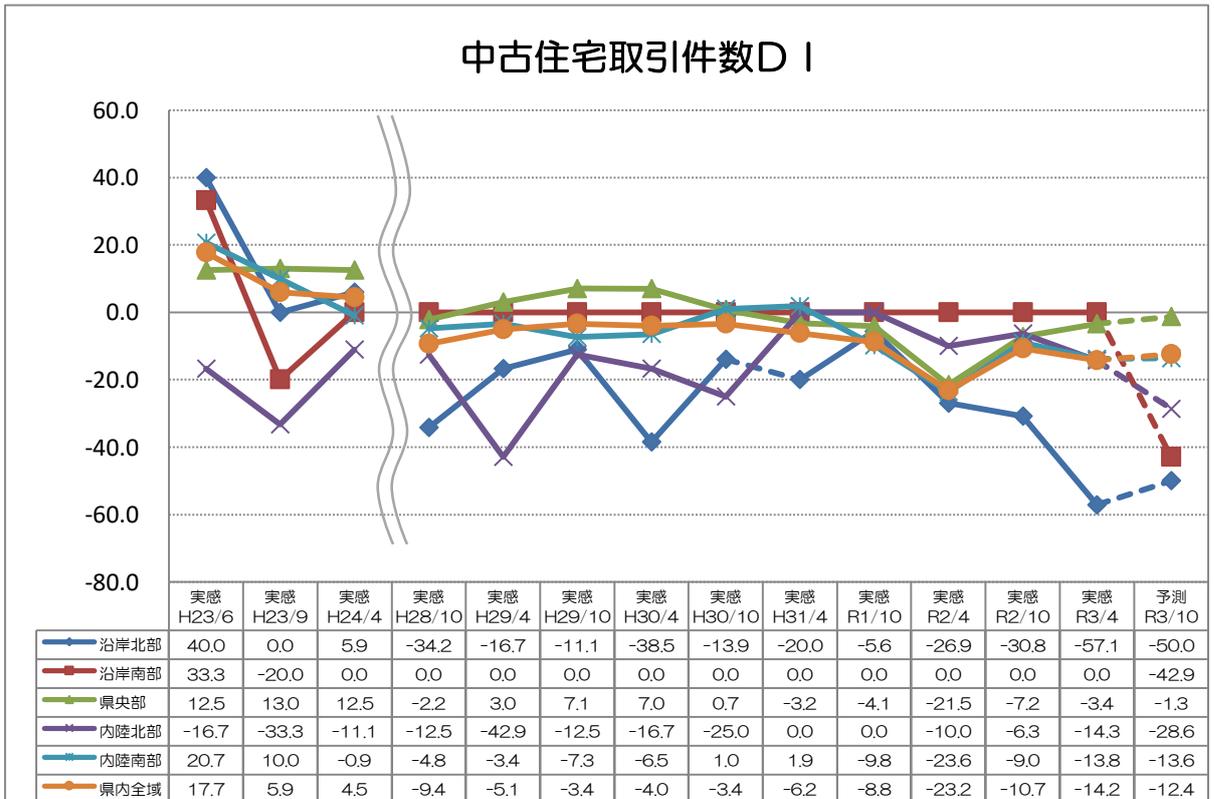


- 価格DIは、いずれの地域も実感・予測とも引き続きマイナス。
- 取引件数DIも、引き続き全地域でマイナス。

問3、4

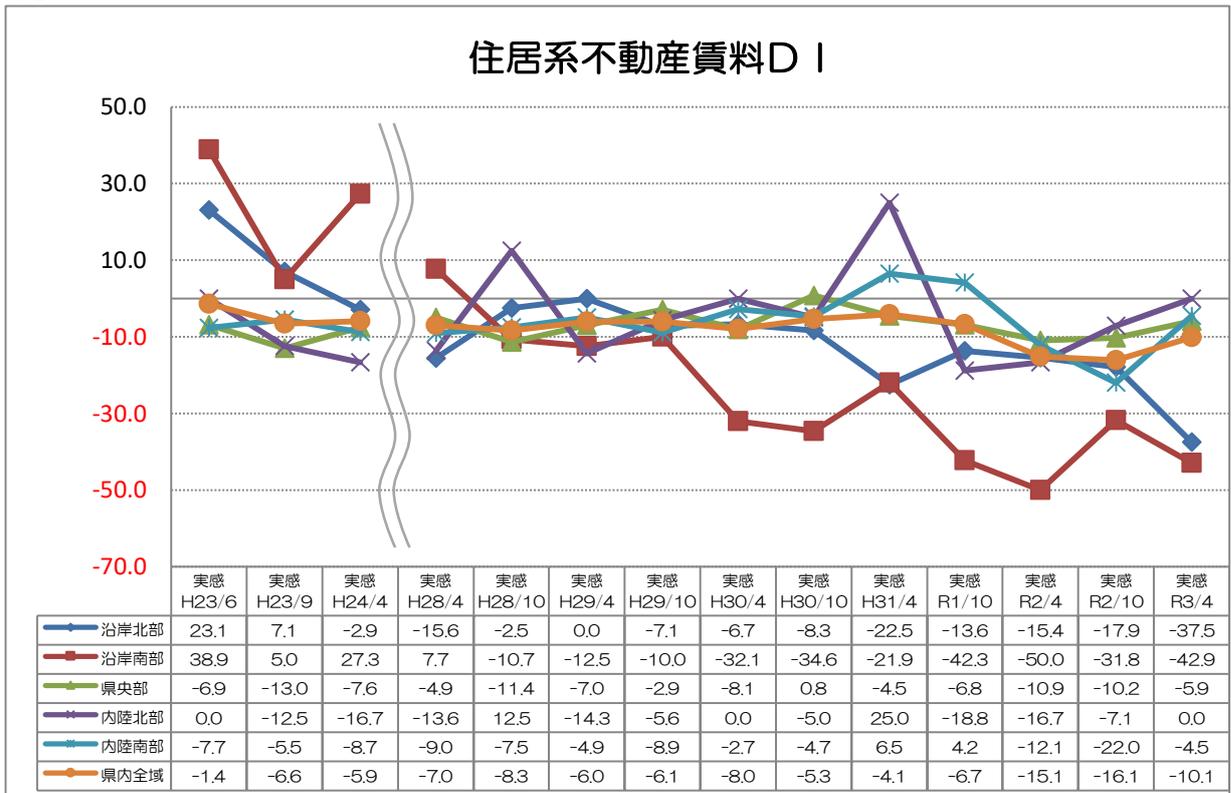


問5、6

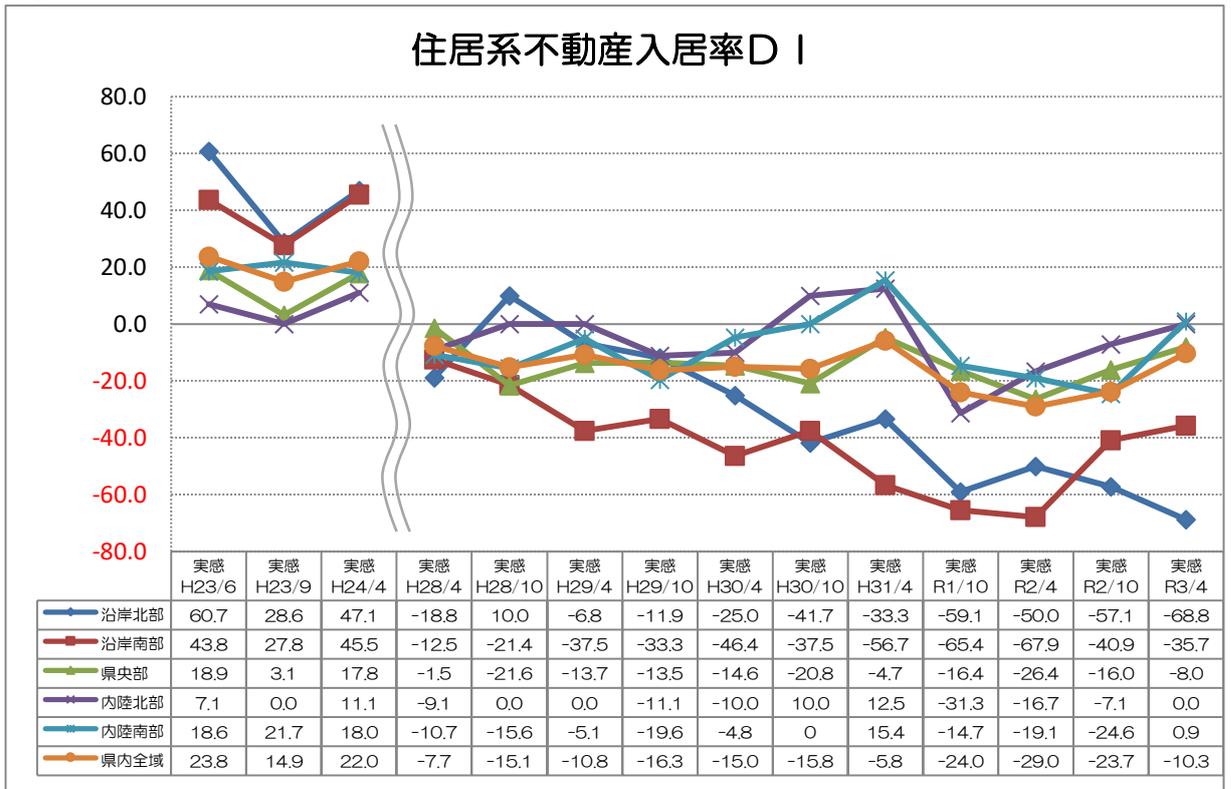


- 価格DIは、県央部のみプラスを維持したが、半年後の予測は全地域でマイナス。
- 取引件数DIは、引き続き沿岸南部のみ横ばいを維持したが、半年後の予測は全地域でマイナス。

問7

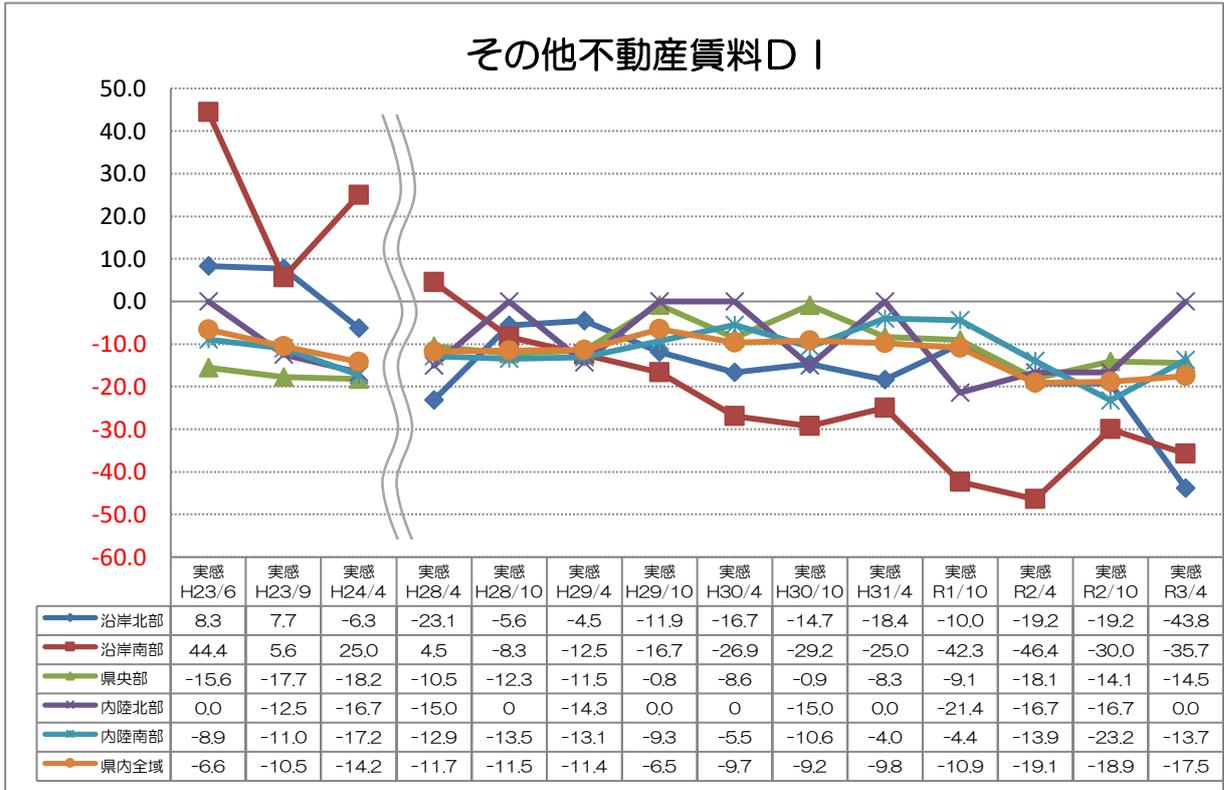


問8

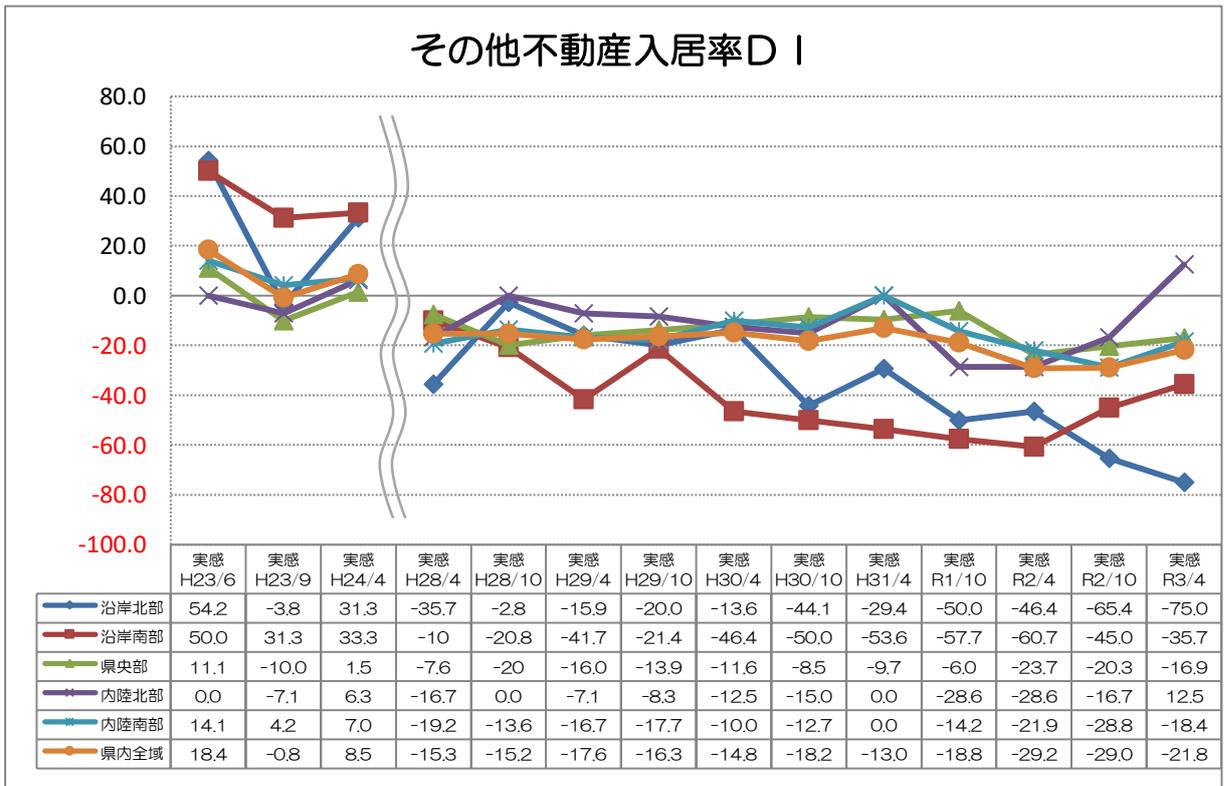


- 賃料DIは、内陸北部がマイナスから転じたが、その他の地域は引き続きマイナス。
- 入居率DIは、内陸北部と内陸南部はマイナスから転じたが、その他の地域はマイナスを継続。

問7



問8



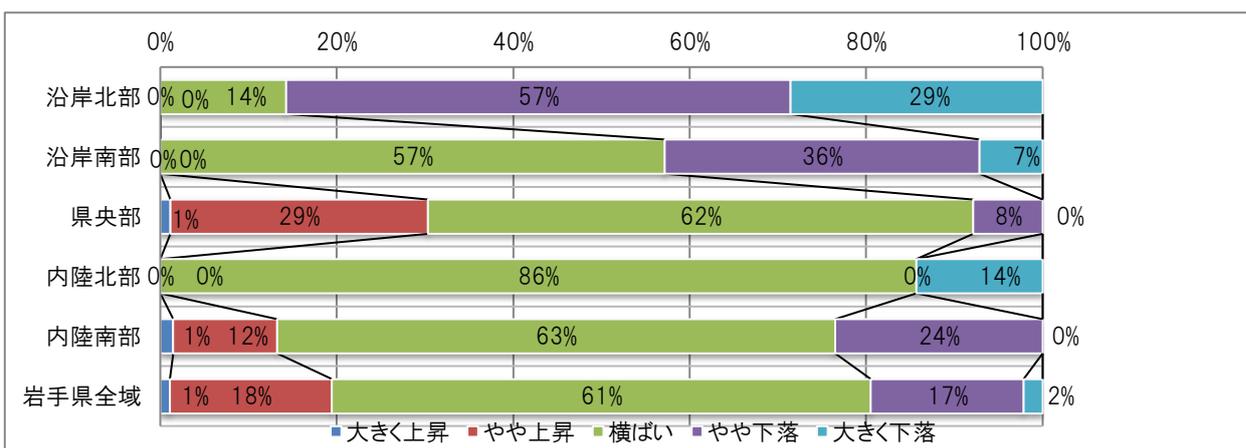
- 賃料DIは、内陸北部がマイナスから転じたが、その他の地域は引き続きマイナス。
- 入居率DIは、内陸北部がマイナスからプラスに転じたが、その他の地域は引き続きマイナス。

2. 設問ごとの回答内訳

問3:取引価格の6ヶ月前(R2.10.1時点)との比較 ①

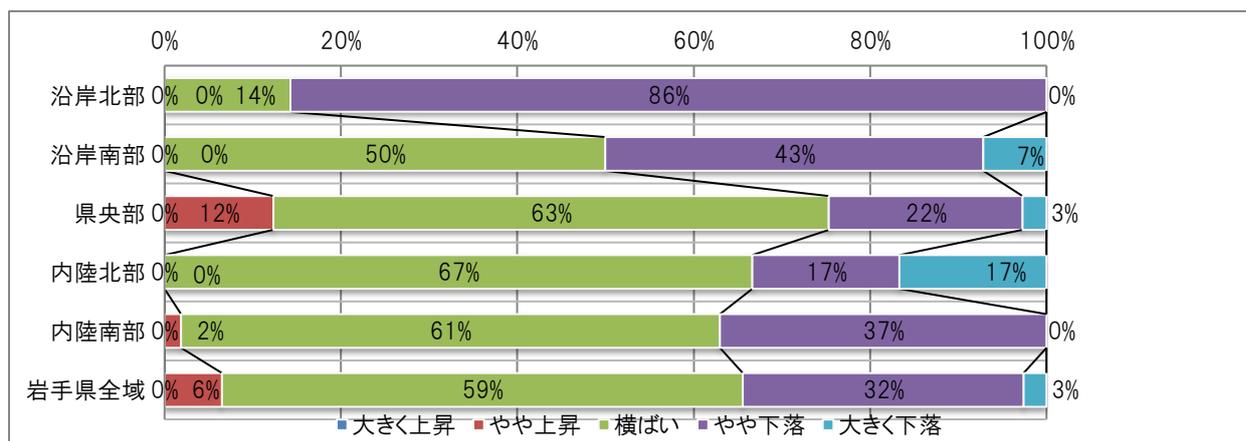
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-57.1	0	0	1	4	2	7	2	9
		0%	0%	14%	57%	29%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	0	8	5	1	14	0	14
		0%	0%	57%	36%	7%	100%		
県央部	11.8	1	26	55	7	0	89	4	93
		1%	29%	62%	8%	0%	100%		
内陸北部	-14.3	0	0	6	0	1	7	0	7
		0%	0%	86%	0%	14%	100%		
内陸南部	-4.4	1	8	43	16	0	68	2	70
		1%	12%	63%	24%	0%	100%		
岩手県全域	-0.5	2	34	113	32	4	185	8	193
		1%	18%	61%	17%	2%	100%		



【商業地】

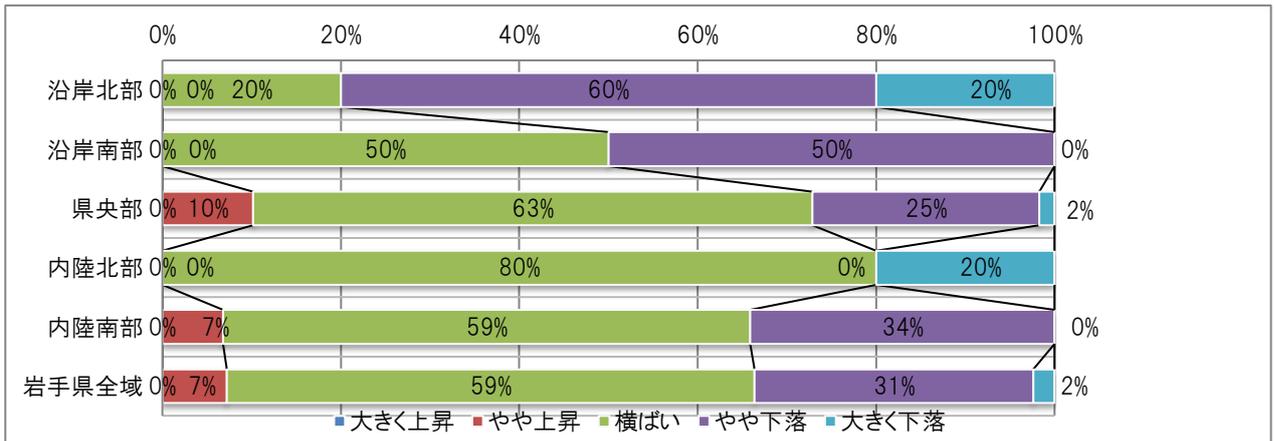
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-42.9	0	0	1	6	0	7	2	9
		0%	0%	14%	86%	0%	100%		
沿岸南部	-28.6	0	0	7	6	1	14	0	14
		0%	0%	50%	43%	7%	100%		
県央部	-7.5	0	9	46	16	2	73	20	93
		0%	12%	63%	22%	3%	100%		
内陸北部	-25.0	0	0	4	1	1	6	1	7
		0%	0%	67%	17%	17%	100%		
内陸南部	-17.6	0	1	33	20	0	54	16	70
		0%	2%	61%	37%	0%	100%		
岩手県全域	-15.3	0	10	91	49	4	154	39	193
		0%	6%	59%	32%	3%	100%		



問3: 取引価格の6ヶ月前(R2.10.1時点)との比較 ②

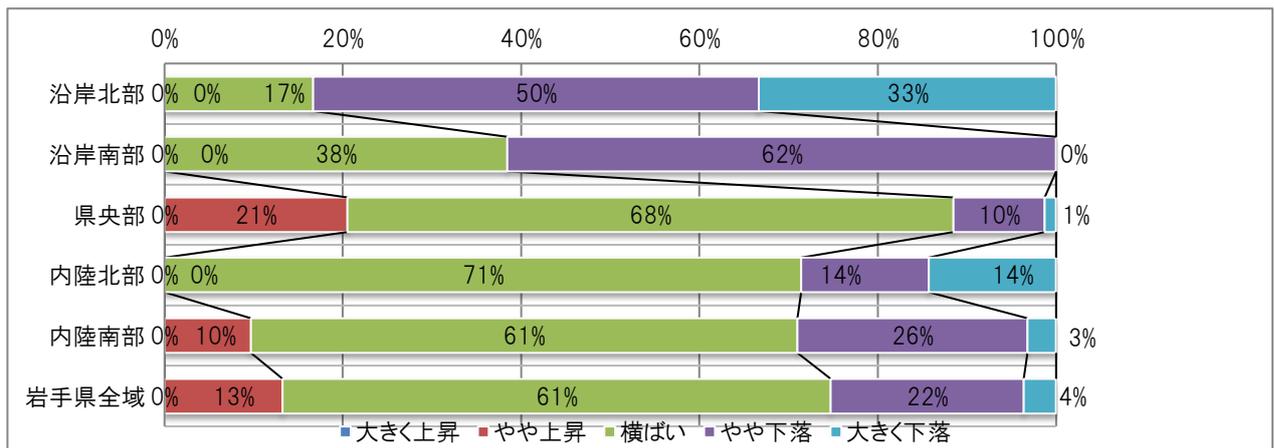
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-50.0	0	0	1	3	1	5	4	9
		0%	0%	20%	60%	20%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	0	6	6	0	12	2	14
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
県央部	-9.3	0	6	37	15	1	59	34	93
		0%	10%	63%	25%	2%	100%		
内陸北部	-20.0	0	0	4	0	1	5	2	7
		0%	0%	80%	0%	20%	100%		
内陸南部	-13.6	0	3	26	15	0	44	26	70
		0%	7%	59%	34%	0%	100%		
岩手県全域	-14.4	0	9	74	39	3	125	68	193
		0%	7%	59%	31%	2%	100%		



【中古住宅】

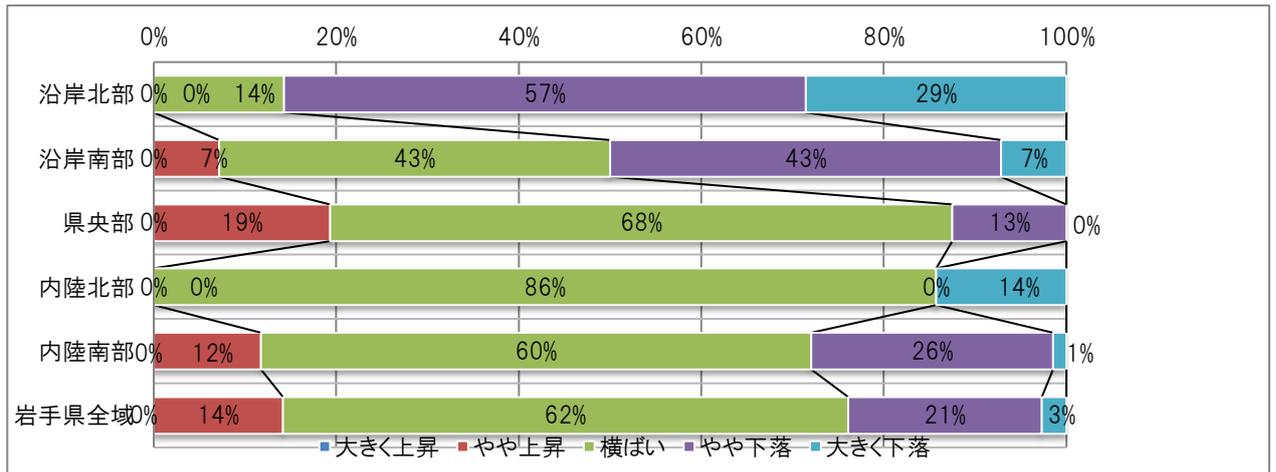
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-58.3	0	0	1	3	2	6	3	9
		0%	0%	17%	50%	33%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	0	5	8	0	13	1	14
		0%	0%	38%	62%	0%	100%		
県央部	3.8	0	16	53	8	1	78	15	93
		0%	21%	68%	10%	1%	100%		
内陸北部	-21.4	0	0	5	1	1	7	0	7
		0%	0%	71%	14%	14%	100%		
内陸南部	-11.3	0	6	38	16	2	62	8	70
		0%	10%	61%	26%	3%	100%		
岩手県全域	-7.8	0	22	102	36	6	166	27	193
		0%	13%	61%	22%	4%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測①

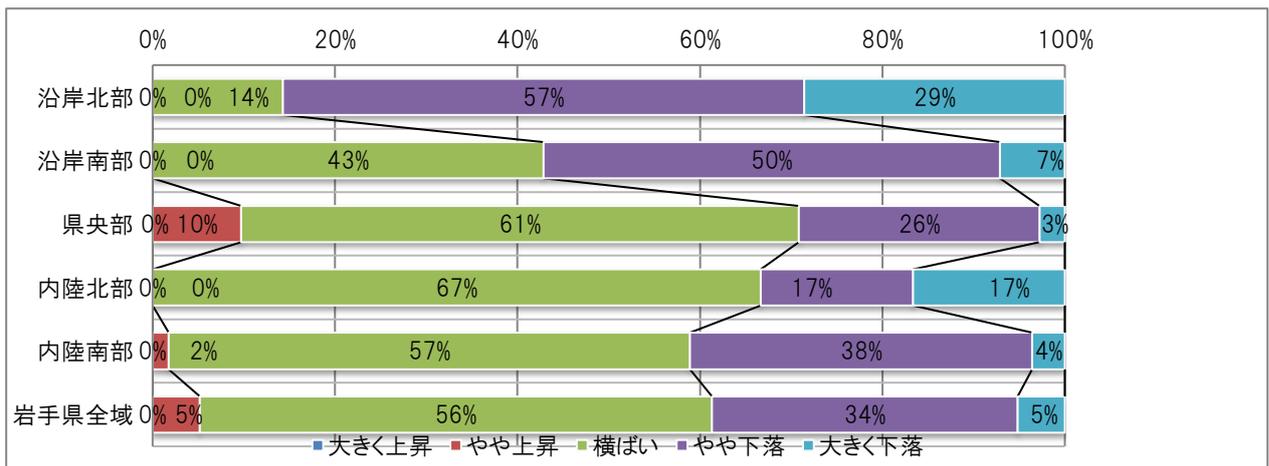
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-57.1	0	0	1	4	2	7	2	9
		0%	0%	14%	57%	29%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	1	6	6	1	14	0	14
		0%	7%	43%	43%	7%	100%		
県央部	3.4	0	17	60	11	0	88	5	93
		0%	19%	68%	13%	0%	100%		
内陸北部	-14.3	0	0	6	0	1	7	0	7
		0%	0%	86%	0%	14%	100%		
内陸南部	-8.8	0	8	41	18	1	68	2	70
		0%	12%	60%	26%	1%	100%		
岩手県全域	-6.3	0	26	114	39	5	184	9	193
		0%	14%	62%	21%	3%	100%		



【商業地】

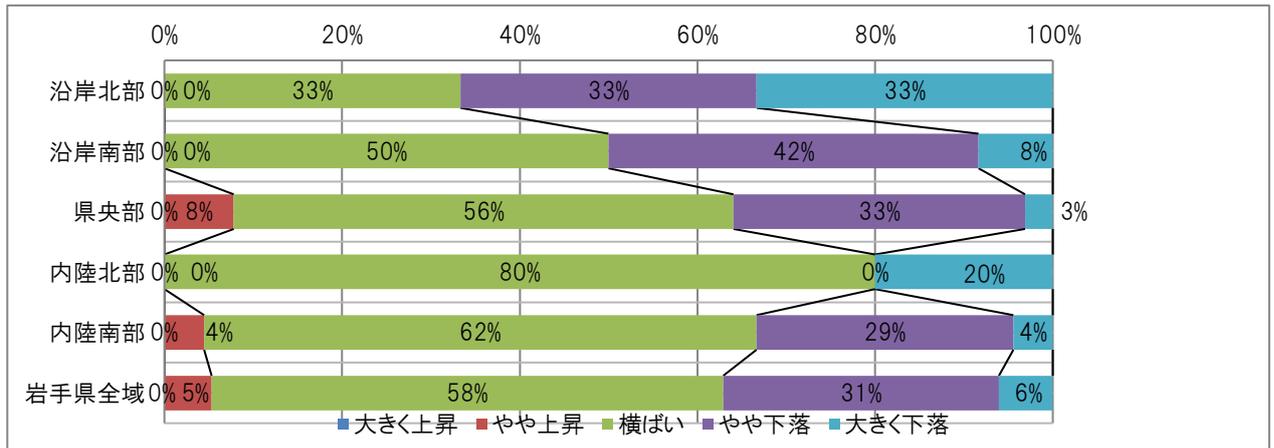
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-57.1	0	0	1	4	2	7	2	9
		0%	0%	14%	57%	29%	100%		
沿岸南部	-32.1	0	0	6	7	1	14	0	14
		0%	0%	43%	50%	7%	100%		
県央部	-11.1	0	7	44	19	2	72	21	93
		0%	10%	61%	26%	3%	100%		
内陸北部	-25.0	0	0	4	1	1	6	1	7
		0%	0%	67%	17%	17%	100%		
内陸南部	-21.4	0	1	32	21	2	56	14	70
		0%	2%	57%	38%	4%	100%		
岩手県全域	-19.4	0	8	87	52	8	155	38	193
		0%	5%	56%	34%	5%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測②

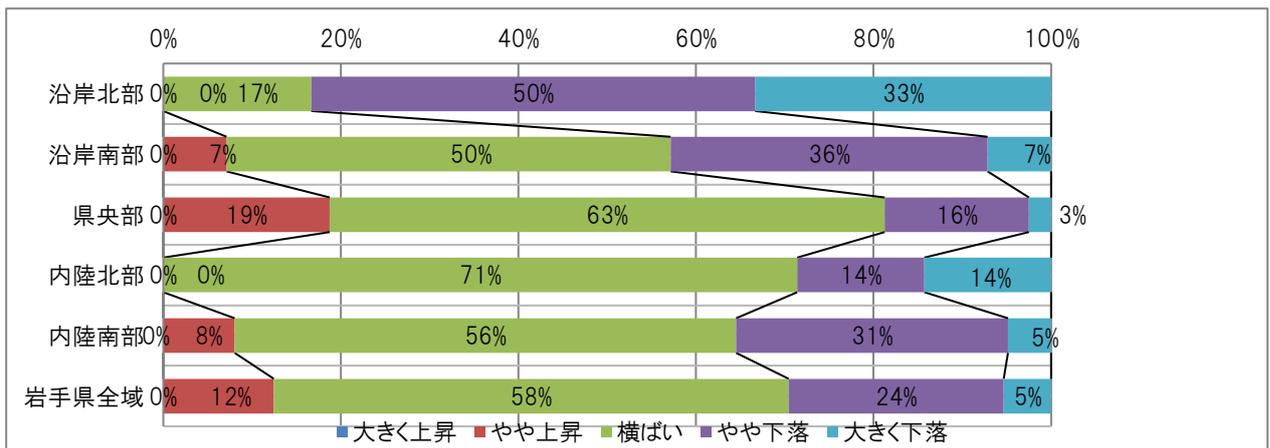
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-50.0	0	0	2	2	2	6	3	9
		0%	0%	33%	33%	33%	100%		
沿岸南部	-29.2	0	0	6	5	1	12	2	14
		0%	0%	50%	42%	8%	100%		
県央部	-15.6	0	5	36	21	2	64	29	93
		0%	8%	56%	33%	3%	100%		
内陸北部	-20.0	0	0	4	0	1	5	2	7
		0%	0%	80%	0%	20%	100%		
内陸南部	-16.7	0	2	28	13	2	45	25	70
		0%	4%	62%	29%	4%	100%		
岩手県全域	-18.9	0	7	76	41	8	132	61	193
		0%	5%	58%	31%	6%	100%		



【中古住宅】

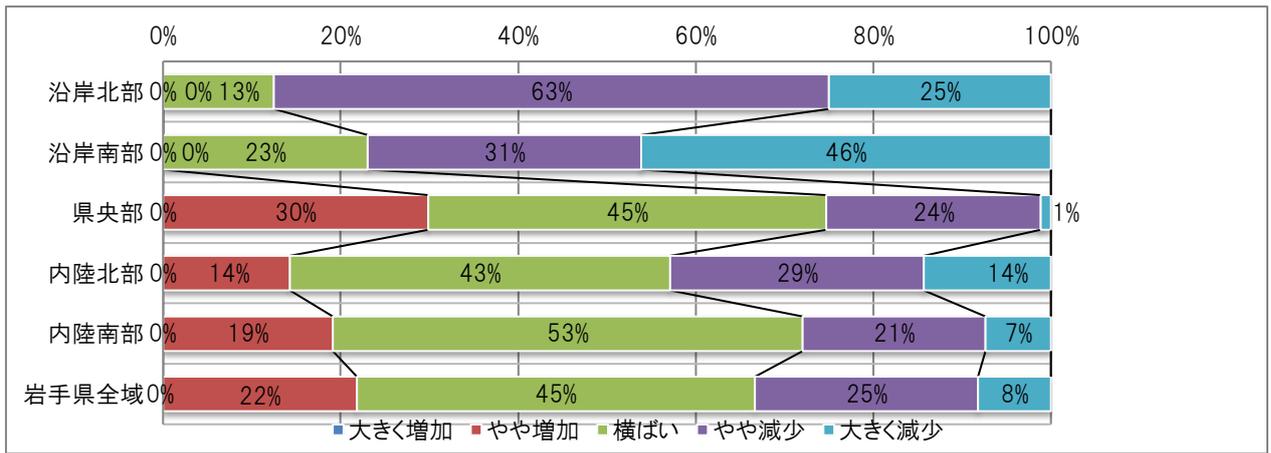
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-58.3	0	0	1	3	2	6	3	9
		0%	0%	17%	50%	33%	100%		
沿岸南部	-21.4	0	1	7	5	1	14	0	14
		0%	7%	50%	36%	7%	100%		
県央部	-1.3	0	15	50	13	2	80	13	93
		0%	19%	63%	16%	3%	100%		
内陸北部	-21.4	0	0	5	1	1	7	0	7
		0%	0%	71%	14%	14%	100%		
内陸南部	-16.1	0	5	35	19	3	62	8	70
		0%	8%	56%	31%	5%	100%		
岩手県全域	-11.2	0	21	98	41	9	169	24	193
		0%	12%	58%	24%	5%	100%		



問5: 取引件数の6ヶ月前(R2.10.1時点)との比較 ①

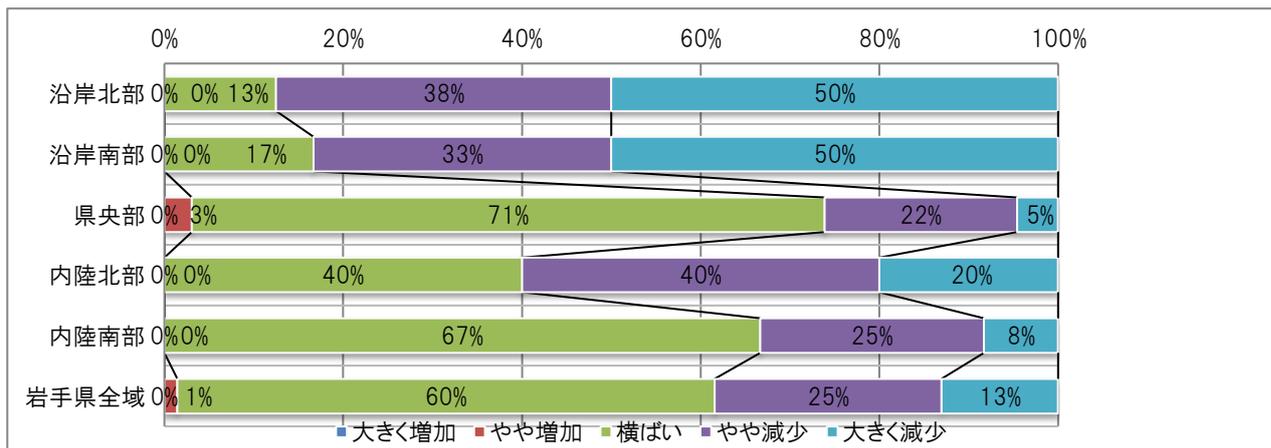
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-56.3	0	0	1	5	2	8	1	9
		0%	0%	13%	63%	25%	100%		
沿岸南部	-61.5	0	0	3	4	6	13	1	14
		0%	0%	23%	31%	46%	100%		
県央部	1.7	0	26	39	21	1	87	6	93
		0%	30%	45%	24%	1%	100%		
内陸北部	-21.4	0	1	3	2	1	7	0	7
		0%	14%	43%	29%	14%	100%		
内陸南部	-8.1	0	13	36	14	5	68	2	70
		0%	19%	53%	21%	7%	100%		
岩手県全域	-9.8	0	40	82	46	15	183	10	193
		0%	22%	45%	25%	8%	100%		



【商業地】

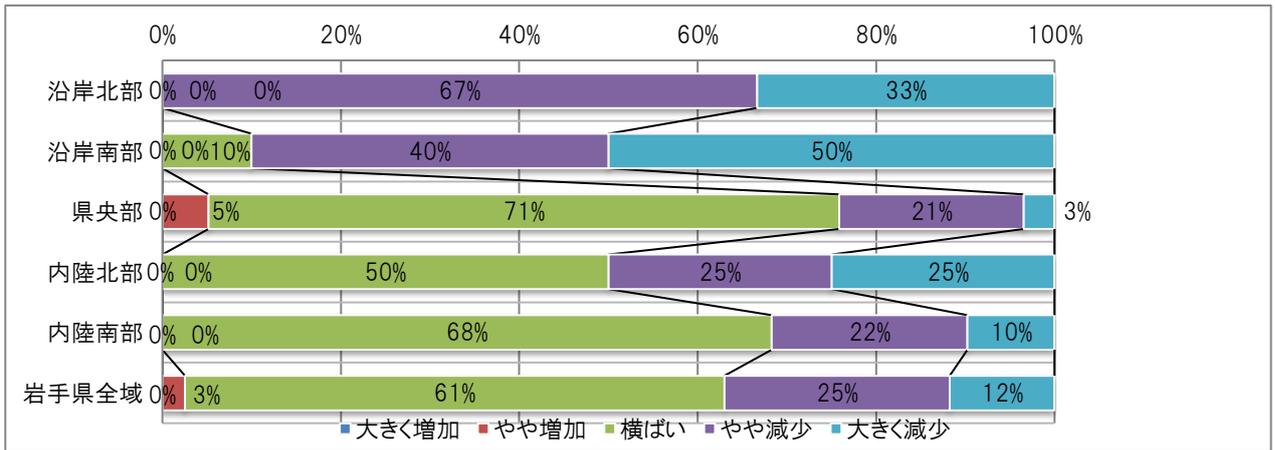
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-68.8	0	0	1	3	4	8	1	9
		0%	0%	13%	38%	50%	100%		
沿岸南部	-66.7	0	0	2	4	6	12	2	14
		0%	0%	17%	33%	50%	100%		
県央部	-13.8	0	2	46	14	3	65	28	93
		0%	3%	71%	22%	5%	100%		
内陸北部	-40.0	0	0	2	2	1	5	2	7
		0%	0%	40%	40%	20%	100%		
内陸南部	-20.8	0	0	32	12	4	48	22	70
		0%	0%	67%	25%	8%	100%		
岩手県全域	-25.0	0	2	83	35	18	138	55	193
		0%	1%	60%	25%	13%	100%		



問5: 取引件数の6ヶ月前(R2.10.1時点)との比較 ②

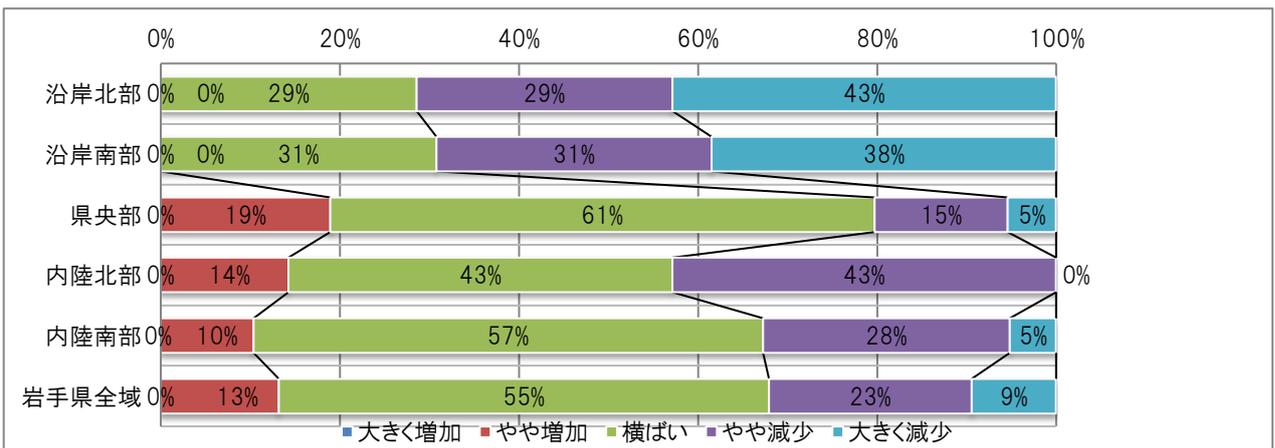
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-66.7	0	0	0	4	2	6	3	9
		0%	0%	0%	67%	33%	100%		
沿岸南部	-70.0	0	0	1	4	5	10	4	14
		0%	0%	10%	40%	50%	100%		
県央部	-11.2	0	3	41	12	2	58	35	93
		0%	5%	71%	21%	3%	100%		
内陸北部	-37.5	0	0	2	1	1	4	3	7
		0%	0%	50%	25%	25%	100%		
内陸南部	-20.7	0	0	28	9	4	41	29	70
		0%	0%	68%	22%	10%	100%		
岩手県全域	-23.1	0	3	72	30	14	119	74	193
		0%	3%	61%	25%	12%	100%		



【中古住宅】

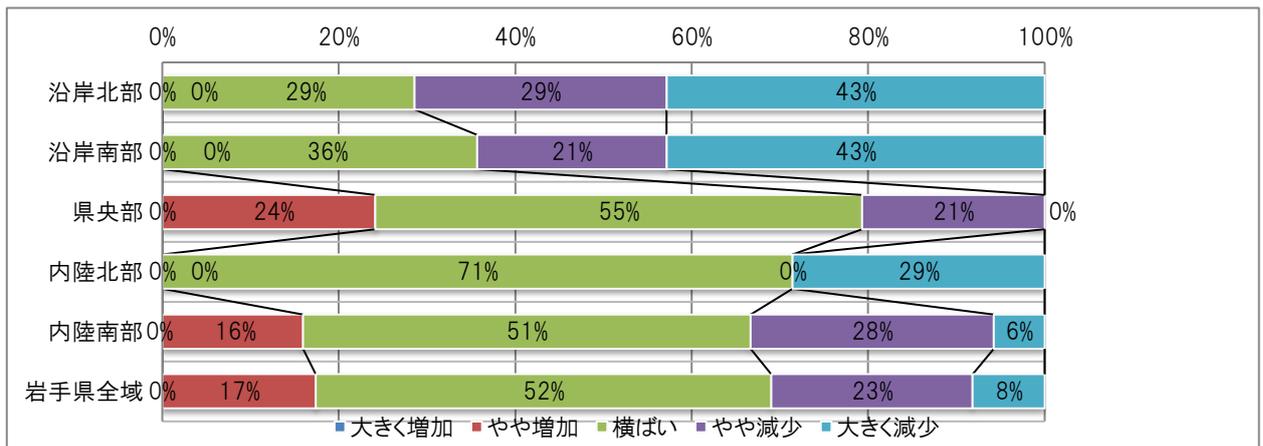
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-57.1	0	0	2	2	3	7	2	9
		0%	0%	29%	29%	43%	100%		
沿岸南部	0.0	0	0	4	4	5	13	1	14
		0%	0%	31%	31%	38%	100%		
県央部	-3.4	0	14	45	11	4	74	19	93
		0%	19%	61%	15%	5%	100%		
内陸北部	-14.3	0	1	3	3	0	7	0	7
		0%	14%	43%	43%	0%	100%		
内陸南部	-13.8	0	6	33	16	3	58	12	70
		0%	10%	57%	28%	5%	100%		
岩手県全域	-14.2	0	21	87	36	15	159	34	193
		0%	13%	55%	23%	9%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ①

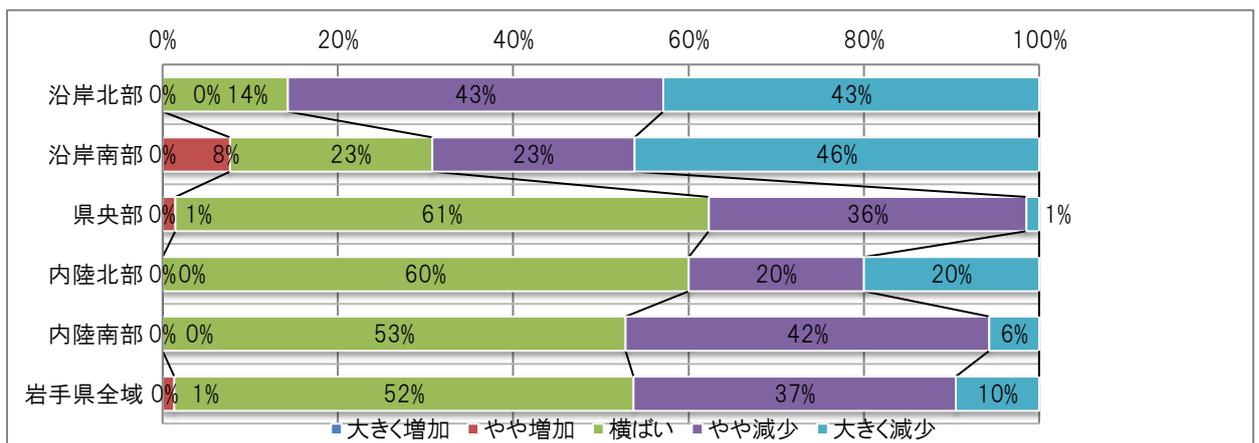
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-57.1	0	0	2	2	3	7	2	9
		0%	0%	29%	29%	43%	100%		
沿岸南部	-53.6	0	0	5	3	6	14	0	14
		0%	0%	36%	21%	43%	100%		
県央部	1.7	0	21	48	18	0	87	6	93
		0%	24%	55%	21%	0%	100%		
内陸北部	-28.6	0	0	5	0	2	7	0	7
		0%	0%	71%	0%	29%	100%		
内陸南部	-11.6	0	11	35	19	4	69	1	70
		0%	16%	51%	28%	6%	100%		
岩手県全域	-10.9	0	32	95	42	15	184	9	193
		0%	17%	52%	23%	8%	100%		



【商業地】

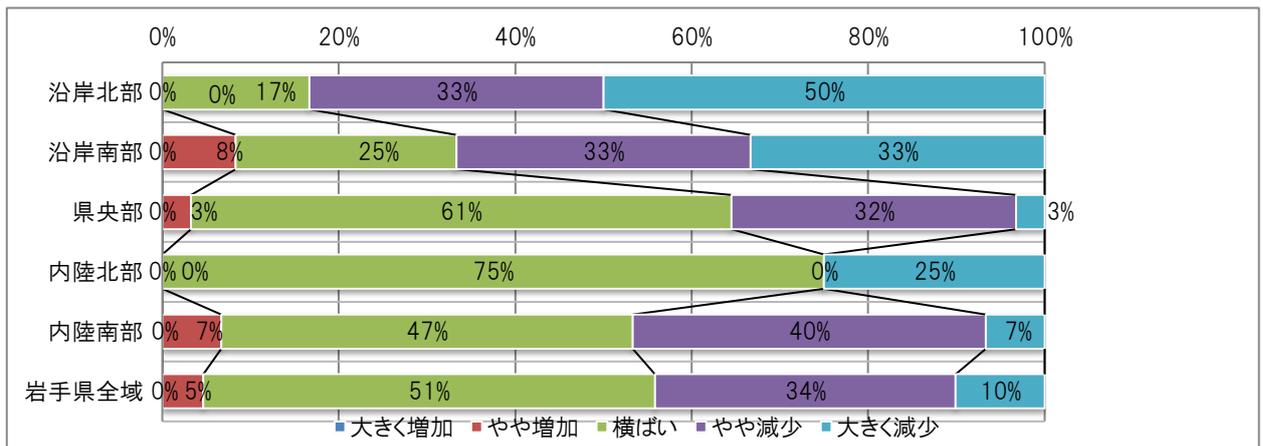
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-64.3	0	0	1	3	3	7	2	9
		0%	0%	14%	43%	43%	100%		
沿岸南部	-53.8	0	1	3	3	6	13	1	14
		0%	8%	23%	23%	46%	100%		
県央部	-18.8	0	1	42	25	1	69	24	93
		0%	1%	61%	36%	1%	100%		
内陸北部	-30.0	0	0	3	1	1	5	2	7
		0%	0%	60%	20%	20%	100%		
内陸南部	-26.4	0	0	28	22	3	53	17	70
		0%	0%	53%	42%	6%	100%		
岩手県全域	-27.2	0	2	77	54	14	147	46	193
		0%	1%	52%	37%	10%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ②

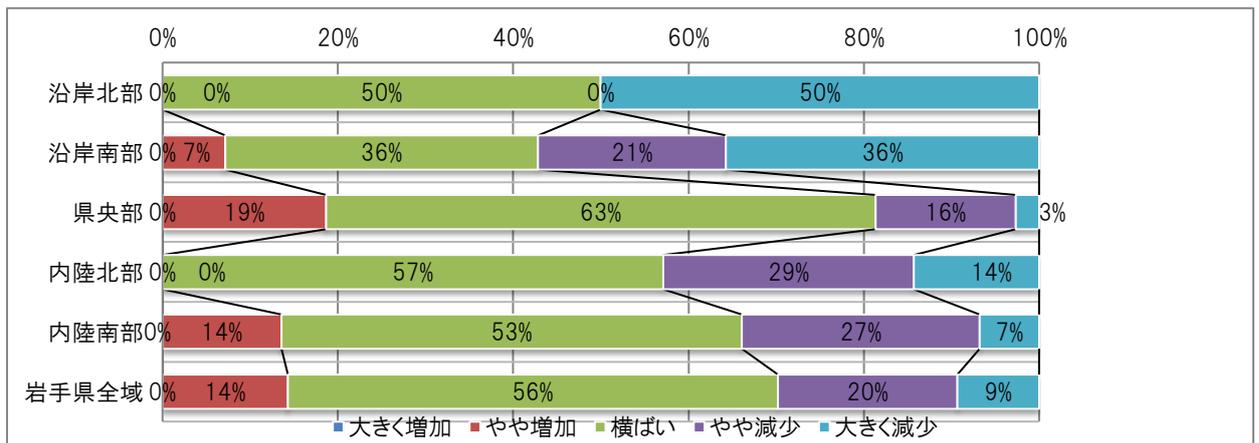
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-66.7	0	0	1	2	3	6	3	9
		0%	0%	17%	33%	50%	100%		
沿岸南部	-45.8	0	1	3	4	4	12	2	14
		0%	8%	25%	33%	33%	100%		
県央部	-17.7	0	2	38	20	2	62	31	93
		0%	3%	61%	32%	3%	100%		
内陸北部	-25.0	0	0	3	0	1	4	3	7
		0%	0%	75%	0%	25%	100%		
内陸南部	-23.3	0	3	21	18	3	45	25	70
		0%	7%	47%	40%	7%	100%		
岩手県全域	-24.8	0	6	66	44	13	129	64	193
		0%	5%	51%	34%	10%	100%		



【中古住宅の取引】

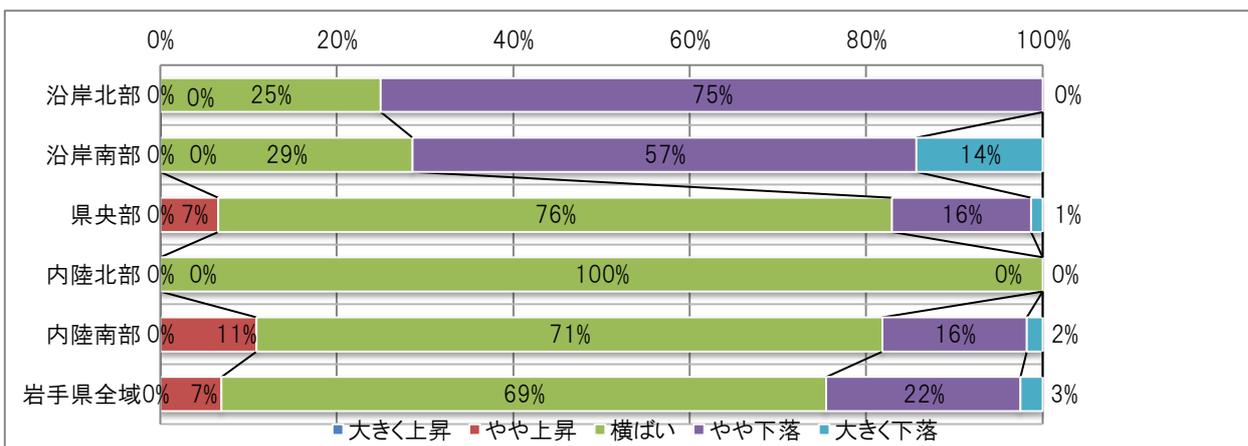
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-50.0	0	0	3	0	3	6	3	9
		0%	0%	50%	0%	50%	100%		
沿岸南部	-42.9	0	1	5	3	5	14	0	14
		0%	7%	36%	21%	36%	100%		
県央部	-1.3	0	14	47	12	2	75	18	93
		0%	19%	63%	16%	3%	100%		
内陸北部	-28.6	0	0	4	2	1	7	0	7
		0%	0%	57%	29%	14%	100%		
内陸南部	-13.6	0	8	31	16	4	59	11	70
		0%	14%	53%	27%	7%	100%		
岩手県全域	-12.4	0	23	90	33	15	161	32	193
		0%	14%	56%	20%	9%	100%		



問7: 賃料の6ヶ月前(R2.10.1時点)との比較

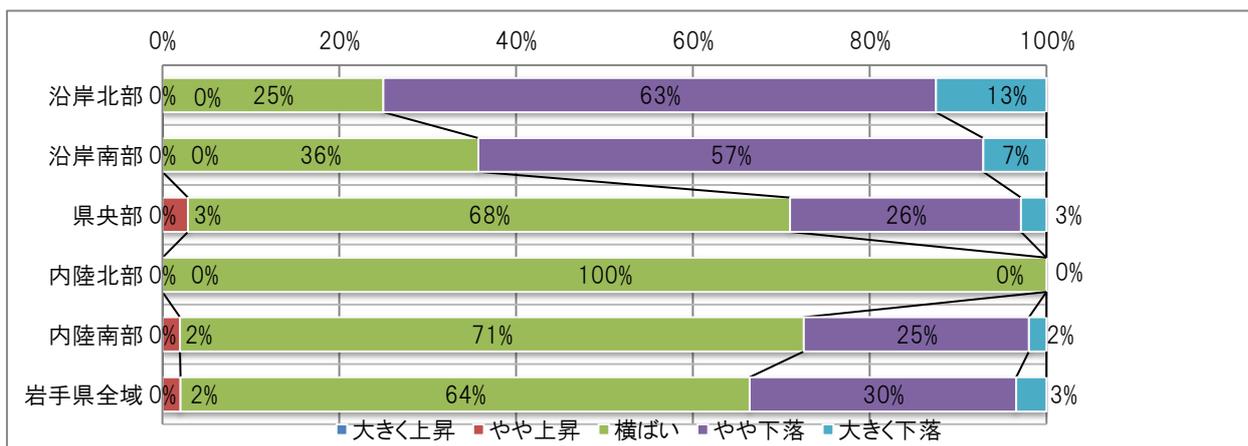
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-37.5	0	0	2	6	0	8	1	9
		0%	0%	25%	75%	0%	100%		
沿岸南部	-42.9	0	0	4	8	2	14	0	14
		0%	0%	29%	57%	14%	100%		
県央部	-5.9	0	5	58	12	1	76	17	93
		0%	7%	76%	16%	1%	100%		
内陸北部	0.0	0	0	6	0	0	6	1	7
		0%	0%	100%	0%	0%	100%		
内陸南部	-4.5	0	6	39	9	1	55	15	70
		0%	11%	71%	16%	2%	100%		
岩手県全域	-10.1	0	11	109	35	4	159	34	193
		0%	7%	69%	22%	3%	100%		



【その他不動産】

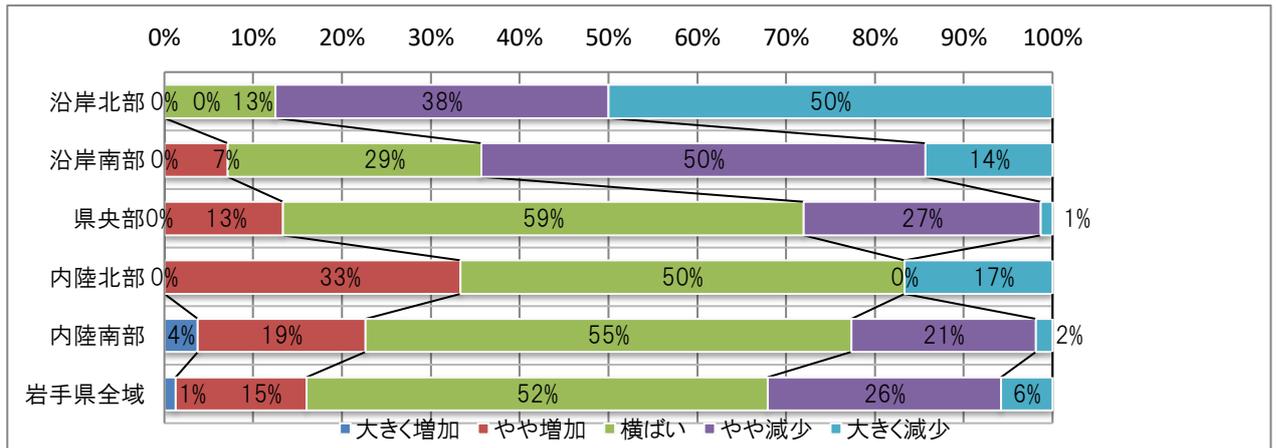
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-43.8	0	0	2	5	1	8	1	9
		0%	0%	25%	63%	13%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	0	5	8	1	14	0	14
		0%	0%	36%	57%	7%	100%		
県央部	-14.5	0	2	47	18	2	69	24	93
		0%	3%	68%	26%	3%	100%		
内陸北部	0.0	0	0	4	0	0	4	3	7
		0%	0%	100%	0%	0%	100%		
内陸南部	-13.7	0	1	36	13	1	51	19	70
		0%	2%	71%	25%	2%	100%		
岩手県全域	-17.5	0	3	94	44	5	146	47	193
		0%	2%	64%	30%	3%	100%		



問8: 入居率の6ヶ月前(R2.10.1時点)との比較

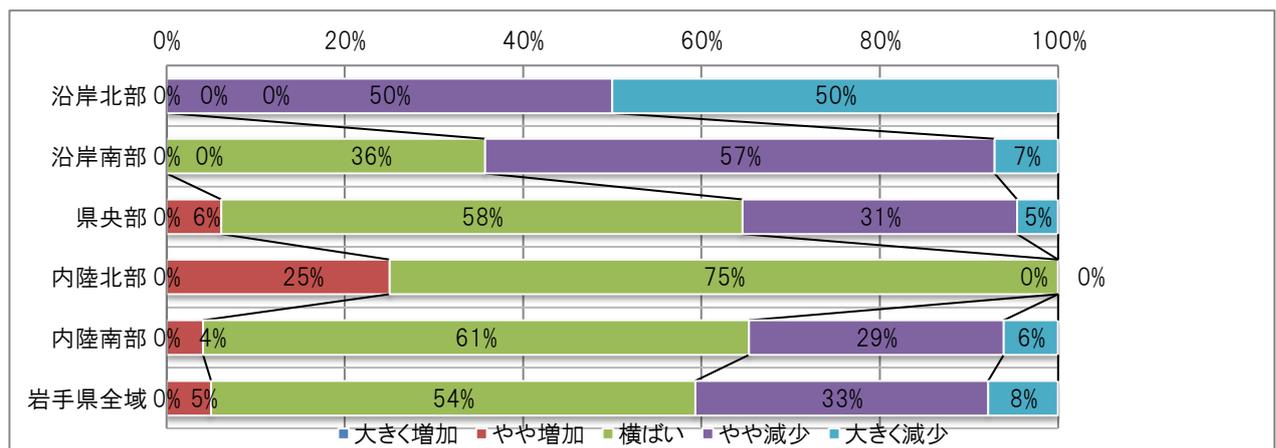
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-68.8	0	0	1	3	4	8	1	9
		0%	0%	13%	38%	50%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	1	4	7	2	14	0	14
		0%	7%	29%	50%	14%	100%		
県央部	-8.0	0	10	44	20	1	75	18	93
		0%	13%	59%	27%	1%	100%		
内陸北部	0.0	0	2	3	0	1	6	1	7
		0%	33%	50%	0%	17%	100%		
内陸南部	0.9	2	10	29	11	1	53	17	70
		4%	19%	55%	21%	2%	100%		
岩手県全域	-10.3	2	23	81	41	9	156	37	193
		1%	15%	52%	26%	6%	100%		



【その他不動産】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-75.0	0	0	0	4	4	8	1	9
		0%	0%	0%	50%	50%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	0	5	8	1	14	0	14
		0%	0%	36%	57%	7%	100%		
県央部	-16.9	0	4	38	20	3	65	28	93
		0%	6%	58%	31%	5%	100%		
内陸北部	12.5	0	1	3	0	0	4	3	7
		0%	25%	75%	0%	0%	100%		
内陸南部	-18.4	0	2	30	14	3	49	21	70
		0%	4%	61%	29%	6%	100%		
岩手県全域	-21.8	0	7	76	46	11	140	53	193
		0%	5%	54%	33%	8%	100%		



お問い合わせ窓口

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

調査研究委員長 有岡 智昭（不動産鑑定士）
（所属） 有岡不動産鑑定事務所合同会社
〒020-0887 盛岡市上ノ橋町4番26号パーシモンA
電話019-601-2845 FAX019-601-2843

調査研究委員 新沼 輝雄（不動産鑑定士）
過去5回 新沼不動産鑑定事務所
〒020-0883 盛岡市志家町2番14号-702
電話019-613-9292 FAX019-613-9293

調査研究委員 小網 裕三（不動産鑑定士）
（所属） 小網不動産鑑定事務所
〒020-0114 盛岡市高松三丁目3-34-A201
電話019-613-8967 FAX019-613-8967

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
代表者名：会長 多田 幸司
発足：昭和42年7月
会員数：590会員（準会員を含む）
所在地：盛岡市前九年1-9-30
電話番号：019-646-1111

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部の概要

団体名：公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
代表者名：本部長 浅沼 儀洋
発足：昭和36年11月
会員数：127会員
所在地：盛岡市八幡町1番9-101
電話番号：019-625-5900

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
代表者名：会長 服部 幸司
発足：平成21年4月
会員数：不動産鑑定士26名、不動産鑑定業者24社
所在地：盛岡市大通1-3-4 宏陽ビル6階
電話番号：019-604-3070

※ 無断複製転載を禁じます。